

平成4年度～



初代会長 松野 盛吉
副会長 松野 隆二
定 部 長 4 丁目 3 番 3 号
秋田市中通 消防 第二
秋田 会 長 松原 隆二
電話 0188-32-3791
FAX 0188-34-2708
郵便番号 010
秋田山王丁 目 5-219
株式会社 松原印刷社
電話 0188-62-8760

平成三年度

消防功労者表彰式

三月二十五日県正庁で



平成三年度消防功労者表彰式は、三月二十五日午後二時より県正庁において、米賀、受章者など多数参加のもと厳粛に挙行された。
この表彰式は、優良消防団、年間無火災町村の知事表彰をはじめ、去る二月十三日東京都庁、また三月四日において授与された日本消防協会会長表彰、また三月四日に同所にて授与された消防庁長官表彰などの伝達が同時に行われた。
また、無火災消防団に対して、県消防協会長から表彰状が贈呈された。
受章者は次のとおり。

日本消防協会会長表彰

- ◎表彰旗(2団)
 - 五城目町消防団
 - 大雄村消防団
- ◎羊頭綬(3団)
 - 田代町消防団
 - 西目町消防団
 - 十文字町消防団
- ◎優良婦人消防隊
 - 角館町下川原婦人消防隊
 - 角館町雲然婦人消防隊
- ◎功績章(26名)
 - 小坂町消防団 副団長 多田 勝一
 - 大館市消防団 副団長 金釜多左衛門

- 副団長 櫻庭清一郎
- 副団長 伊藤 鉄郎
- 副団長 三浦 萬治
- 副団長 齋藤 正
- 副団長 遠藤 芳武
- 副団長 佐々木藤清
- 副団長 大高 道秋
- 副団長 伊勢 貞雄
- 副団長 菅原 富男
- 副団長 天正町消防団 副団長 佐々木孝治
- 副団長 秋田市消防団 副団長 金釜多左衛門

- 河辺町消防団 副団長 佐藤 忠行
- 河辺町消防団 副団長 三浦 萬治
- 本庄市消防団 副団長 齋藤 正
- 大内町消防団 副団長 遠藤 芳武
- 仁賀保地区消防組合消防本部 消防司令長 斎藤 藤一
- 大曲市消防団 副団長 功
- 角館町消防団 副団長 本郷 功
- 六郷町消防団 副団長 小林 暁一
- 田沢湖町消防団 副団長 佐々木孝治
- 仙北町消防団 副団長 鈴木 良一

- ◎表彰旗
 - 大森町消防団
 - 大森町消防団
- ◎羊頭綬(2団)
 - 大森町消防団
 - 大森町消防団
- ◎功績章(4名)
 - 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 佐々木孝行
 - 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 佐々木孝行
 - 大森町消防団 副団長 柴田康二郎

- 副団長 熊谷 長市
- 副団長 佐野 昭一
- 副団長 佐藤 慶治
- 副団長 柴田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 高橋 操
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一

- 副団長 石川 弘治
- 副団長 川上 国夫
- 副団長 滝沢 誠一
- 副団長 林 三
- 副団長 成田 哲美
- 副団長 岩本 進
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一

- 副団長 中田 弘
- 副団長 斎藤 勝治
- 副団長 伊藤 忠夫
- 副団長 小玉 俊悦
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一

- 副団長 石井 貞治
- 副団長 重治
- 副団長 後藤 忠一郎
- 副団長 伊賀多一郎
- 副団長 伊藤 正男
- 副団長 門脇 伊一
- 副団長 戸澤 良清
- 副団長 佐藤 庄司
- 副団長 佐藤 誠司
- 副団長 仙南村消防団 副団長 伊藤 広造
- 副団長 大曲市消防団 副団長 山脇 平治
- 副団長 山崎 敏彦

- 副団長 渡辺 清一
- 副団長 菅野 財一
- 副団長 高橋 正雄
- 副団長 奥山 平治
- 副団長 小南 博己
- 副団長 金子 武治
- 副団長 外 190名

秋田県知事表彰

- ◎無火災町村(8町村)
 - 阿仁町 藤里町 峰浜村
 - 飯田川町 仁賀保町
 - 六郷町 南外村 仙南村

- 副団長 大石 正則
- 副団長 佐藤 正
- 副団長 佐藤 正
- 副団長 佐藤 正
- 副団長 佐藤 正
- 副団長 佐藤 正
- 副団長 佐藤 正
- 副団長 佐藤 正
- 副団長 佐藤 正
- 副団長 佐藤 正

- 副団長 石川 弘治
- 副団長 川上 国夫
- 副団長 滝沢 誠一
- 副団長 林 三
- 副団長 成田 哲美
- 副団長 岩本 進
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一

- 副団長 中田 弘
- 副団長 斎藤 勝治
- 副団長 伊藤 忠夫
- 副団長 小玉 俊悦
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一

- 副団長 石井 貞治
- 副団長 重治
- 副団長 後藤 忠一郎
- 副団長 伊賀多一郎
- 副団長 伊藤 正男
- 副団長 門脇 伊一
- 副団長 戸澤 良清
- 副団長 佐藤 庄司
- 副団長 佐藤 誠司
- 副団長 仙南村消防団 副団長 伊藤 広造
- 副団長 大曲市消防団 副団長 山脇 平治
- 副団長 山崎 敏彦

- 副団長 渡辺 清一
- 副団長 菅野 財一
- 副団長 高橋 正雄
- 副団長 奥山 平治
- 副団長 小南 博己
- 副団長 金子 武治
- 副団長 外 190名

消防庁長官表彰

- ◎表彰旗
 - 大森町消防団
 - 大森町消防団
- ◎羊頭綬(2団)
 - 大森町消防団
 - 大森町消防団
- ◎功績章(4名)
 - 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 佐々木孝行
 - 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 佐々木孝行
 - 大森町消防団 副団長 柴田康二郎

- 副団長 熊谷 長市
- 副団長 佐野 昭一
- 副団長 佐藤 慶治
- 副団長 柴田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 高橋 操
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一

- 副団長 石川 弘治
- 副団長 川上 国夫
- 副団長 滝沢 誠一
- 副団長 林 三
- 副団長 成田 哲美
- 副団長 岩本 進
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一

- 副団長 中田 弘
- 副団長 斎藤 勝治
- 副団長 伊藤 忠夫
- 副団長 小玉 俊悦
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一
- 副団長 藤田 久一

- 副団長 石井 貞治
- 副団長 重治
- 副団長 後藤 忠一郎
- 副団長 伊賀多一郎
- 副団長 伊藤 正男
- 副団長 門脇 伊一
- 副団長 戸澤 良清
- 副団長 佐藤 庄司
- 副団長 佐藤 誠司
- 副団長 仙南村消防団 副団長 伊藤 広造
- 副団長 大曲市消防団 副団長 山脇 平治
- 副団長 山崎 敏彦

- 副団長 渡辺 清一
- 副団長 菅野 財一
- 副団長 高橋 正雄
- 副団長 奥山 平治
- 副団長 小南 博己
- 副団長 金子 武治
- 副団長 外 190名

秋田県消防協会会長表彰

- ◎優良消防機関(8団)
 - 阿仁町消防団
 - 藤里町消防団
 - 飯田川町消防団
 - 仁賀保地区消防団
 - 大森町消防団
 - 南外村消防団
 - 仙南村消防団



消防互助年金加入状況表

平成4年2月28日現在

Table with 5 columns: 区分, 団員数, 加入目標数, 加入者数, 加入率. Lists 35 districts and their membership statistics.

Table with 5 columns: 区分, 団員数, 加入目標数, 加入者数, 加入率. Lists 36 districts and their membership statistics.

掛金は安全・確実・有利に運用
年金は毎年増え続ける終身年金

平成三年度
消防互助年金加入状況

消防互助年金の加入推進については、皆様の御理解、御協力によりまして、平成三年度は、新たに五三一名の方々に加入いたしました。これにより、本県加入者総数は、二二〇〇人となり、二千人を突破することができました。本制度の有利性を理解され、着実に消防団員に浸透しつつあることは、よろこばしいことです。

本協会では、表彰基準にのり、昨年度中それぞれ消防団、本部に對しまして表彰を行うこととしております。今回、表彰を受けられるところは次のとおりです。

ゆたかな未来を築くために
消防互助年金に加入を!!

消防互助年金支部別加入状況
平成4年2月28日現在

Table with 5 columns: 区分, 職員数, 加入目標数, 加入者数, 加入率. Lists 36 districts and their membership statistics.

Table with 5 columns: 支部名, 団員数, 加入目標数, 加入者数, 加入率. Lists 16 branches and their membership statistics.

2月の火災発生件数(全県)

Table with 5 columns: 月, 建物, その他, 死者, 災害. Shows fire incident statistics for February.

本事業は、モーターボート競争公益資金による(財)日本船舶振興会の補助金を受けて(財)日本消防協会が援助する事業である。

Advertisement for fire insurance with a tree graphic showing growth from 120,000 to 3,207,000 yen.

Advertisement for 寺田染工場 (Terada Dyeing Works) listing services like fireproofing and dyeing.

Advertisement for 株式会社 高義商会 (Takashi Kaisha) providing fire equipment and services.

Advertisement for 猿田興業株式会社 (Saruta Kogyo) regarding fire equipment maintenance.

Advertisement for 高義商事株式会社 (Takashi Shoji) listing various fire equipment and services.

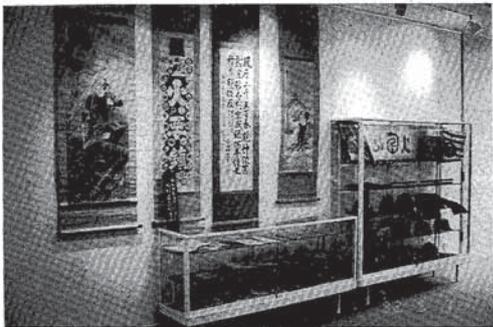
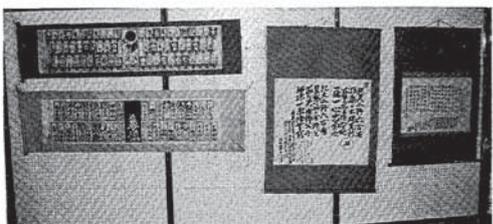
Advertisement for 株式会社 協立 (Kyoichi Kaisha) listing fire equipment and services.

消防秋田

初代会長 松野 盛吉
定 額 1部 5円
秋田市中通4丁目3-23
秋田県 消防協 会
発行人 会長 栗田 廣二郎
電話 0188-32-3791
FAX 0188-34-2795
郵便番号 010
秋田山王町丁目5-29
印刷 株式会社 松原印刷社
電話 0188-62-8760

松野盛吉初代会長遺品 消防学校に展示

本協会初代会長松野盛吉氏の御遺族から遺品五十点を昭和四十年六月十八日、本協会経営の消防会館に陳列するよう申入れがあり、その後、役員至りに陳列していただいた。消防学校の新設に伴ない資料室が開設された機会に、これを消防学校に



移転陳列し、一般に公開し、広く県民に対する消防思想の普及と消防人の士気高揚、消防施策の研究、消防知識の啓発等に資するに効果的であることから、御遺族、消防学校当局と協議し、消防学校併設の防災センター資料室に陳列することになり、四月に移管した。

消防功労者 平成四年 春の叙勲、褒章

晴れの荣誉に輝く

平成四年の春の叙勲、褒章は、恒例よりみどりの日の四月二十九日に発表された。

今回、本県消防関係者の晴れの受章者は、勲五等二名、勲六等十二名の計十四名である。その伝達式は五月十四日、東京都港区虎ノ門ニッショールにおいて消防庁長官から伝達された。

勲五等瑞宝章
元西木村消防団 団長 上藤 龍司 72
元藤原町消防団 団長 齊藤 榮一 76

勲六等瑞宝章
元飯田川町消防分団長 鎌田 實 66
元岩城町消防分団長 柳 橋 定雄 64

藍綬褒章
現矢島町消防団 団長 新田 耕一 63

勲六等単光旭日章
元鹿角市消防団 分団長 齋藤 強 65
元五城目町消防分団長 越 高 儀市 64
元増田町消防団 団長 元藤 浜村 消防分団長 佐藤 芳太郎 71
元平鹿町消防団 分団長 原 利一 66
元秋田市消防本部消防司令 三上 限 徳 70
元西目町消防団 副団長 柳 橋 定雄 64

今野 集之助 66
元鹿角市消防団 分団長 齋藤 強 65
元五城目町消防分団長 佐々木 大三郎 68
元藤原町消防分団長 薩摩 勝義 65
元昭和町消防分団長 菅原 兼雄 65
元元川町消防分団長 成田 道哉 65

議の総合調整機能の一層の強化を図る必要がある。また、近年の高齢化の進展等を背景として、災害弱者対策の一層の推進が必要である。

② 地域防災計画の内容をより具体的、実践的なものとするため、防災アセスメントの確立、③ 防災ビジュンツの確立、④ 災害予防対策計画の整備、⑤ 災害応急対策計画の整備、⑥ 地区別防災カルテの作成などの点に留意しつつ、地域防災計画の積極的な見直しを行う必要がある。

今後、防災アセスメントの実施や地区別防災カルテの整備に一層努めるとともに、災害危険区域の指定、見直しについても積極的に推進し、適切な災害予防策を行うこと等により、地域防災計画を常に現実化に即した実効性のあるものにする必要がある。

情報通信体制の整備
災害に係る情報の収集伝達制を確立するための消防防災無線通信網は、現在、

平成三年版消防白書 (完)

三 消防行政の現況と当面の諸問題
一 消防体制の整備
平成三年四月一日現在の常備消防機関の現況は、消防本部が九三五本部、消防署が一、五八九署、出張所

が三、一七五所、消防職員が三万五、一五七人と なっている。常備化市町村数は三、〇四三を数え、全市町村数に対する常備化率は九三・九パーセントに達し、人口の九九・一パーセ

ントをカバーしている。また、消防員は九万九、一五六人となっている。このように我が国の消防は、時代の要請に応じて着実な整備をみているが、今後の課題として、次

⑤ 消防職員の勤務の特殊性や職務の危険性を十分考慮した処遇の改善を積極的に行うこと。
⑥ 消防職員については六〇歳定年制の導入等により今後ますます高齢化していくことが予

二 救急体制の充実
救急業務は、平成三年四月一日現在、全市町村の九四・六パーセントに当たる三、〇六六市町村が実施し、全国民の九九・三パーセントをカバーするに至っている。平成三年中の救急出動件数は二七六、四九五一件、搬送人員は一七〇、万四、五八人で、前年よりそ

③ 救急業務の高度化に対応した高規格の救急車等の全国的な整備を推進すること。
④ 傷病者の搬送に長時間を要する地域を中心として、救急搬送ヘリコプターを広く活用するシステムの整備を推進すること。

⑤ 住民に対する応急手続の普及啓発を推進する
⑥ 患者等搬送事業の指導育成を図ること。
⑦ 救助体制の整備
平成二年中の救助活動件数は二万二、二四四件、救助人員は二万二、五九五人である。

⑧ 消防機関の救助体制の整備充実を図ること。救助資機材総合整備事業により、救助隊の整備を促進するとともに、各種災害ごとに具体的な救助活動要領を示した活動マニュアル等について検討を行っている。今後の課題としては、次の諸点があげられる。

① 救助隊の適正な配置に努めること。
② 救助隊員の教育訓練実施体制の整備に努めること。
③ 防災体制の強化
防災に関する組織の強化・計画の整備
① 災害対策基本法に基づき、国、都道府県及び市町村にそれぞれ防災会議が設置され、防災計画の作成等、国、地方公共団体及びその他の公共機関を通じた総合的な防災体制の整備が進められているが、今後とも、防炎会

(2) 情報通信体制の整備
災害に係る情報の収集伝達制を確立するための消防防災無線通信網は、現在、

高義商事株式会社

秋田県横手市寿町2番9号
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トナーポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンバロポンプ
- 各種消火器
- 各種ポンプ
- 各種消火器
- 各種ポンプ
- 各種消火器

消防設備はソフト (保守点検)が決めて!



消防設備の点検設置のご相談は

猿田興業株式会社

秋田山王六丁目10-9 電話 63-1551(代)

火災報知設備・消防ポンプ・消火器

森田ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器
簡易自動消火装置ユーホ

ラビットポンプ
消防被服一式
ガス水道工事一般
¥25,000

株式会社 協立

能代市栄町12の3 〒016
TEL (0185) (52)6361代表

国(消防庁)と都道府県間... 整備を一層促進する必要がある。

② 消防機関における情報通信システムの高機能化や信頼性の向上を図るため、特に緊急時における迅速かつ的確な処理を行うための確保を図る必要がある。

③ 災害情報を迅速かつ的確に収集、伝達できるように、防災関係機関間の連携強化、伝達手段の再点検、夜間・休日等も含めた情報連絡体制の強化、住民への情報伝達手段、手順等を明確化するなども必要である。

3月の火災発生件数(全県)
Table with columns: 火災発生件数, 死者, 被害, 建物, その他, 月別(3月A, B, C, 前年A, B, C)

さらに、今後、消防防災ヘリコプターを増強するとともに、全国的な広域航空消防防災体制を構築することにより、広域応援体制の充実を図る必要がある。

平成四年度

消防職員初任科生入校式



平成四年度消防学校消防職員初任科教育生(第四十六期)の入校式が去る四月八日午前十一時から、県消防本部から四十九名の入校生を迎えて、消防学校講堂で行われた。

消防学校

この初任教育は、各消防本部の新規採用職員に対し、消防職員として必要な知識・技術の修得と強い精神力・逞しい体力を養成し、さらには厳正な規律の保持と秩序ある行動の涵養を目的として行われる。

この後、入校生を代表して男鹿地区消防本部、消防士渡部伸明君が「入校の意義と消防の責務を自覚し、規律ある学校生活を通じて勉学、研修に励み、消防職員としての地域住民の信頼に値する人格陶冶に努めることを誓います」と力強く宣誓し、一八五日間九・八時間に及ぶ教育訓練のスタートを切った。

秋田県消防長会主催

消防職員意見発表会

四月七日 秋田市消防本部

秋田県消防長会主催の消防職員意見発表会が去る四月七日、秋田市消防本部において開催され、各消防本部から選抜された八人(別掲)の消防職員からそれぞれ発表があり、審査の結果、最優秀賞に能代地区消防一部事務組合消防本部の消防士金谷豊君が選ばれた。

「救急活動を通して見た高齢化社会」



能代地区消防本部消防士 金谷 豊

ある老人が、身内に見られることもない一人暮らしを引きました。老人は八十二歳の男性、呼吸器障害三级の認定を受けており、その身体障害者手帳には、「日常生活に支障をきたす恐れあり」と記載されているものでした。私が勤務する北部警察署内の峰浜村において、昨年暮れからこの老人が頻りに救急要請をし、救急は十数回に及ぶ搬送を置かれたのです。

秋田へお越しの節のお泊りにぜひご利用を
▲一般のお客様
1人室(洗面所、トイレ付) ¥ 3,000
2人室(バス、トイレ付) ¥ 6,000
▲会員の方
1人室(洗面所、トイレ付) ¥ 2,700
2人室(バス、トイレ付) ¥ 5,400
ホテルあきた
秋田市中通4丁目3の23
(秋田消防会館内) 電話32局41111

消防 半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門
寺田染工場
横手市清川町 電話32-0416

総合防災設備設計、施工
総代理店
消防設備士
秋田県 消防機器A級店
株式会社 高義商会
〒012-01 本社 秋田県鶴川町 電話(0183)(42)2125-2126
〒012 横手市田町 電話(0183)(73)2588-2992
〒019-05 十文字町本町 電話(0182)(42)0032
高義グループ店 秋田市、大館市、天王町、鹿角市

消防秋田

平成四年度 秋田県消防協会代議員会開催

新年度の事業計画・予算が決まる



平成四年度の秋田県消防協会代議員会は五月二十一日午後一時から秋田ビューホテルにおいて協会の役員、代議員及び来賓など約八十名が出席して行われた。まず、柴田会長があいさつし、秋田県知事佐々木喜久治氏の祝辞のあと、柴田会長が議長となり議事録署名員に西仙北町町長斎藤尚氏、由利町町長正木久氏を選出した後、議案を審議した。議案の主なもの、次のとおりである。

別掲1 平成4年度消防協会事業計画

事業項目	実施内容	実施時期
1. 会議	次の会議を開催し、会の進展をはかる。 (1) 正副会長会議 (2) 理事会 (3) 代議員会 (4) 福祉互助会審議委員会 (5) 支部事務担当者会議	随時 平成4年 5月4日 5月5日 5月6日
2. 表彰	1. 次により団体及び個人を表彰する。 (1) 消防、勤続、功労、顕功の各表彰 (2) 親睦功労表彰、協力者表彰 (3) 優良消防機関 2. 日本消防協会長表彰の伝達 3. 無火災消防団の表彰	平成5年 前年5月 平成5年 前年3月
3. 甲斐見舞	1. 規定による次の見舞金を贈呈する。 (1) 甲斐見舞(甲斐救済金) (2) 傷見舞() (3) 罹災見舞(罹災互助会) 2. 殉職消防職、団員の慰霊祭を執行する。	年間 平成4年 前年10月
4. 無火災国民運動の推進	1. 新聞「消防秋田」毎月1回発行する。(3,400部) 2. 次により一般国民の防火思想の普及向上をはかる。 (1) 火災予防運動の推進 (2) 防火ポスターの配布 (3) 防火フィルムの貸出 (4) 防火作品(ボク)の募集 (5) 防火弁論大会の開催助成 (6) 防火座談会の開催助成 (7) 地域防火協議会の開催助成(8) 火災予防団体の指導育成	毎年 月間
5. 教養研修	次の研修を実施し、知識技術の向上をはかる。 (1) 消防団員等の教養研修 (2) 消防団員指導員研修(日本消防協会委託)	平成4年 開業月 前年12月
6. 全県消防大会	消防の士気の高揚と消防施策の研修及び消防体制の強化をはかるため、横手市において第45回全県消防大会を開催する。	平成4年 前年7月
7. 全県消防訓練大会	消防団員の士気の高揚と消防規律、技術の練磨向上をはかるため、各支部代表による全県消防訓練大会を開催する。	平成4年 前年9月
8. 支部総合防災訓練	防災体制の強化をはかるため、防災関係機関が一体となり、地域住民の協力による防災訓練を実施した支部に助成する。	年間
9. 防火管理者講習会	県消防長会の実施する防火管理者講習会に助成する。	年間
10. 福利厚生事業協力	日本消防協会の福利厚生事業に協力する。 (1) 消防団員福祉共済制度の推進 (2) 全日本消防人火災共済会への加入促進 (3) 消防互助年金制度への加入を消防団の福利厚生者の増進のため促進する。 (4) 婦人消防隊員福祉制度の推進	年間

別掲2 平成三年度各会計収支決算一覧表 (単位:円)

会計別	歳入金額	歳出金額	差引金額	摘 要
一般会計	21,294,510	21,166,945	127,565	次年度繰越
消防会館特別会計	38,194,425	35,057,574	3,136,851	"
特別会計罹災互助会	9,477,499	7,655,145	1,822,354	"

別掲3 平成四年度各会計予算一覧表 (単位:円)

会計別	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
一般会計	20,277,565	20,543,812	△ 266,247	
消防会館特別会計	37,986,851	35,844,214	2,142,637	
特別会計罹災互助会	9,128,000	9,377,515	△ 249,515	

◎決算の部
一、平成三年度事業の概要報告について
二、平成三年度一般会計歳入歳出決算の承認について
三、平成三年度消防会館特別会計収支決算の承認について
四、平成三年度特別会計罹災互助会歳入歳出決算承認について

◎予算の部
一、平成四年度事業計画について
二、平成四年度支部分担金の徴収額(案)について
三、平成四年度一般会計歳入歳出予算(案)について

以上の報告説明について、大久保政治監事が監査結果について報告がなされ、各決算は、原案どおり可決された。

◎予算の部
一、平成四年度事業計画について
二、平成四年度支部分担金の徴収額(案)について
三、平成四年度一般会計歳入歳出予算(案)について

七、暫定予算(案)の委任について
八、年度内一時借入(案)について
以上の上記事業計画、予算案及び委任事項について原案どおり可決された。

また、報告事項も了承された後、消防互助年金の加入促進に顕著な成績を挙げた消防団、消防本部に対して

四、平成四年度消防会館特別会計収支目録論(案)について
五、平成四年度特別会計罹災互助会歳入歳出予算(案)について
六、補正予算(案)の委任について
七、暫定予算(案)の委任について

平成三年度全国統一防火標語
"毎日が火の元警報"
発令中



柴田会長から感謝状が贈られた。
感謝状贈呈の消防団及び消防本部は次の九消防団、一消防本部である。
○消防団
鹿角市消防団
大館市
比内町
" " " " " " " " " " " "

藤里町
雄和町
本荘市
" " " " " " " " " " " "

○消防本部
田沢湖町
" " " " " " " " " " " "

五城目町消防本部

4月の火災発生件数(全県)

	建物	その他	死者	り世帯
4月	25	19	1	25
累計A(1月~4月)	104	35	10	99
前年累計B(1月~4月)	121	78	9	111
前年対比A-B	△17	△43	1	△12

本事業は、モーターボート競争公益資金による財)日本船舶振興会の補助金を受けて財)日本消防協会が援助する事業である。

高義商事株式会社

秋田県横手市寿町2番9号
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)
日本機械自動車ポンプ
トーンポンプ
各種消防機械器具
消防設備保守点検

キンバイホース
シバウラポンプ
各種消火器

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50)4370号
指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)
秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト(保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は
猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)
火災報知設備・消防ポンプ・消火器

森田ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器
簡易自動消火装置ユーホ

ラビットポンプ
消防被服一式
ガス水道工事一般
¥25,000

株式会社 協立

能代市栄町12の3 〒016
TEL (0185) (52)6361代表

本県唯一の女性消防団のプロフィール

大館市消防団

大館市消防団は県内にきぎけて昨年十月一日女性消防団員を採用した。女性消防団員五十名は二分団を編成、本年一月六日恒例の消防出初式において機嫌とした慶賀で市民にお目見えしたが、この度、大館市消防団長西田進氏、および第二十五分団分団長成田敏子さん、第二十六分団分団長斎藤啓子さんから、導入の経緯と女性消防団の心構えについて寄稿されたので御紹介する。

なお、古くから女性消防団員のおつ西田町消防団では昨年十二月三十一日をもって、女性消防団員全員が退団したことから、大館市消防団が唯一の女性消防団員のおる消防団となった。

女性消防団員を導入

消防団の活性化を図る

大館市消防団団長 蒔 苗 進



当大館市消防団は、団員の高齢化やサラリーマン化が進み、若年消防団員の補充については、年々減少を辿り、しかも市民の消防団に対する関心度も、今ひとつ盛り上がり欠けること、おが消防団の現状でありました。

そういったなか、昨年、県消防協会長田島長から、女性消防団員の導入方についてお話を伺い、日本消防協会や自治省消防庁においても、国の重点指導施策として、と聞き、消防団活性化のためにも是非当市でも実現したいのと考へ、早速、地元最高幹部(副団長西田)と導入について協議、大館広域消防本部と合議して勧めることとし、小畑大館市長に伺ったところ、是非実現するよう力強い働きをいただきました。

昨年七月六日分団長以上の幹部会議を開催し最初は分団長推せん方式として各分団から、二、三名の推せん枠とし、消防団業務については女性の持つソフト性、きめ細かく優しい思いやり等の特性を活かし、し

かも家庭で火に接する機会が多い女性に、地域での防火の輪を担い、又、独居老人、高齢者世帯、寝たきり老人や福祉施設での防火活動の主な業務として分団区域毎に推せんを依頼しました。

その際各分団長から、市の広報紙で募集したら市の要望もあって、掲載依頼をしました。

同年八月四日大館市定例記者会見で、市長から女性団員五〇名を採用すると公表され、分団長推せん公募方式により、受付を始めました。九月下旬を目途にしておりましたが、二〇〇件を超える問い合わせがあり、最終的に六十四人応募者の中から五〇人の募集を、市議会の理解ある御同意をいただいで、十月一日市中央公民館で、皆さんのとりとりに許命を交付しました。

その間、大館広域消防本部の職員から、消防制度、消防業務等の説明を受けて戴き、待遇等について男性団員と同一であることを種々説明致し、また、消防互助年金についてその制度をお話したところ、その趣旨を良く理解され、全員加入と云う大変喜ばしい、結果となりました。

今後、広域消防の協力と指導を仰ぎ、消防行政、消防団業務、訓練礼式、査察等の基礎的教養と訓練をお願いし、さらに救急法、福祉行政についても研修を計画し実施したいと思っております。

最後に秋田県消防協会の皆様のご協力に感謝を申し上げます。今後とも御支援下さいませようお願い致します。

採用以来、まだ日も浅く訓練礼式の一部しか実習し

ておりませんが、女性団員の規律的行動や意欲面に大きな向上がみられ、新春一月六日、当市恒例の消防出初式において、大館市長の観閲を受け、市民の皆様にも女性消防団員の存在を、大きくアピールしました。

今後は、消防のみならず地域の活性化に十分その成果が得られるよう、期待しております。

最後に秋田県消防協会の皆様のご協力に感謝を申し上げます。今後とも御支援下さいませようお願い致します。



出初式で市長、団長の観閲を受ける女性消防団員

女性消防団として

第二十五分団分団長 成田 敏子



昨年大館市で初めての女性消防団が誕生しました。二十代から四十代と幅広い年齢ですが、少しでも地域への社会奉仕が出来ればと思っております。

右も左も分らない家庭を預かる女性五十名が、短期間の規律訓練を受けて初めて女性消防団として、出初式に参加することが出来ました。

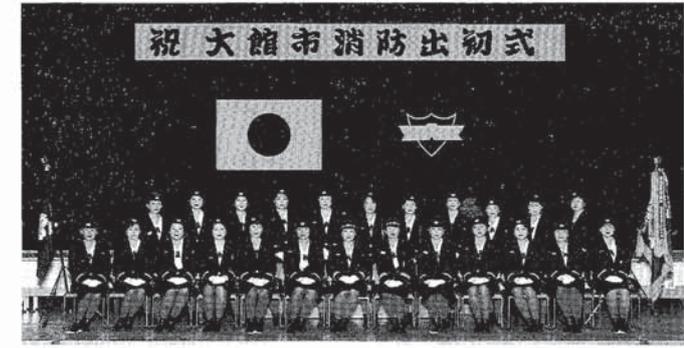
第二十六分団分団長 斎藤 啓子



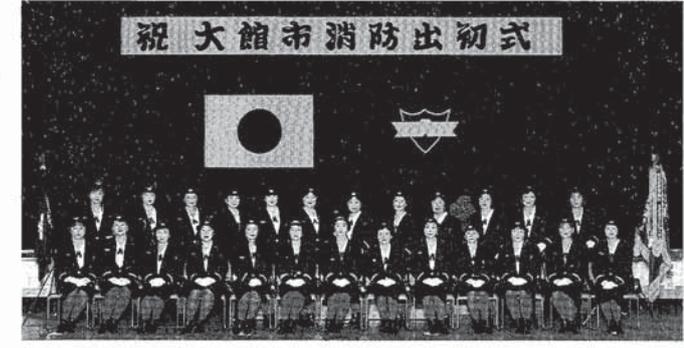
日頃、火災をはじめとし各種災害から地域住民を守るために、日夜活動されている消防団の皆様に対して、頭の下がる思いです。私も台所に立つ身であります。

キビキビした行動を必要とされる消防団員になつて、あらためて気持ちの引き締まる思いがしました。男性消防団のハードで幅広い消防活動に比べて女性消防団は、女性特有のきめ細やかなソフトな面において、

私たちが女性も男性に無いソフト面を生かし、これから教育訓練に励みまして地域社会の安全確保と発展のため、住民から信頼と尊敬される誇りある消防団として、たゆまぬ努力を続けて参りたいと思っております。どうぞ皆様温かいご支援ご指導をお願い致します。



大館市消防団第25分団



大館市消防団第26分団

秋田へお越しの節のお泊りにぜひご利用を

▲一般のお客様
1人室(洗面所、トイレ付) ¥ 3,000
2人室(バス、トイレ付) ¥ 6,000

▲会員の方
1人室(洗面所、トイレ付) ¥ 2,700
2人室(バス、トイレ付) ¥ 5,400

ホテルあきた

秋田市中通4丁目3の23
(秋田消防会館内) 電話32局4111

消防 半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺田染工場

横手市清川町 電話32-0416

総合防災設備設計、施工

総代理店
消防設備士
秋田県 消防機器A級店
入札資格

株式会社 **高義商会**

〒012-01 本社 秋田県横川町 電話 (0183) (42)2125-2126
〒012 湯沢市田町 電話 (0183) (73)2588-2932
〒019-05 十文字町本町 電話 (0182) (42)0032
高義グループ店 秋田市、大館市、天王町、鹿角市

消防秋田

吉 盛 松 野 5 丁 目 3 一 23 会 会
 初 定 信 1 部 4 丁 目 3 一 23 会 会
 秋 田 市 中 通 消 防 協 会 二 部
 会 長 田 田 田 田 田 田 田 田
 電 話 0188-32-2791
 FAX 0188-34-2706
 郵便番号 010
 秋 田 市 山 王 丁 目 5-29
 株 式 会 社 松 原 印 刷 社
 電 話 0188-62-8760

消防業務への更なる献身を誓い 第四十五回全県消防大会

横手市で盛大に開催

秋田県消防協会主催、秋田県・横手市・平鹿郡各町村及び日本消防協会後援の第四十五回全県消防大会が七月三日、横手市民会館において、消防庁審議官松本和雄氏、秋田県副知事池田竹二郎氏、日本消防協会会長代理広瀬昭氏、秋田県議会副議長伊藤憲一氏、横手市長寺田典成氏など多くの来賓の臨席のもと県内消防関係者六〇〇余名が参加し、室内式に大々的に開催された。

大会は、参加者が起立修礼ののち、副議長が第四十五回全県消防大会の開催を宣言し、殉職消防団員の御霊に対し黙禱を捧げ、国歌斉唱の後、柴田会



柴田会長あいさつ

長が開会の挨拶(別掲)を行なった。次に開催地である横手市消防団長寺田博寿氏、横手市長寺田典成氏からそれぞれ歓迎と激励をこめた挨拶がなされた。

ここで日程の一部を変更し、参議院議員、佐々木満氏の挨拶を頂いた。

続いて、大会運営のため十文字町消防団 渡部忠行団長 平鹿町消防団 高橋昌一郎団長 雄物川町消防団 松田昭之助団長の三氏を演出した後、前年度、本庄市において開催した第四十四回大会の決議事項の処理報告を事務局から行ない、満場の拍手をもって承認された。

次に各支部から提案された議題(別掲)の説明、各支部から提案理由の説明がなされ、各議題は何れも満場一致で採択することになった。

また、来年度の第四十六回全県消防大会の開催地を議題とし、前日の役員会において内定した鹿角支部において開催することを満場一致で採択決定をみた。

続いて鹿角支部の鹿角市消防団長高岡治氏から「米年度の全県消防大会が鹿角市と決定して頂き非常に光栄と存じております。早速、行政機関、消防機関と相談して、最善を尽くし受け入れ体制をつくりたいと存じます。

皆さま御承知のことと存じますが、鹿角地域は十和田八幡平国立公園並びにその周辺の温泉地、併せては、鹿角山麓光マインランド、鹿角ふるさと館「トラート」等の観光施設が沢山ござい

秋田県の北端で、皆さまに、大変御迷惑をおかけしますが、万全の体制をとって、お受け入れたいと存じます。

どうぞ皆さま、来年をお楽しみにお出で下さい。」と、歓迎の挨拶がなされ



消防の歌「われらあり」を斉唱

平成三年度全国統一防火標語
 『毎日が火の元警報』
 発令中

会長挨拶要旨

本日は池田副知事はじめ国会・県会の諸先生及び地元市町村長など多くの来賓のご臨席のもと、全県六百七拾名の消防職員が横手市に集い第四十五回全県消防大会を開催することには誠に御慶の至りです。

特に消防庁から松本審議官がわざわざ激励にお出でを頂き、秋田県消防協会にとっての上もない名誉で勇気百倍の心地であります。

また日本消防協会から広瀬審議部長が毎川会長の名代としてお出でをいただいたしております。

本大会開催に当っては横手市・平鹿郡各町村消防局消防関係者、横手平鹿広域消防本部、平鹿福祉事務所消防本部、秋田県消防協会、池田副知事をはじめ、関係者の方々から激励の言葉をいただき、誠に御慶の至りです。

そして今年六月末日まで山菜取の遭難者が三十一名にのぼり、その内、死者行方不明が十一名となっております。これからも、休日増加や高齢化の進展に伴い、一層の増加が懸念されます。

そして今年六月末日まで山菜取の遭難者が三十一名にのぼり、その内、死者行方不明が十一名となっております。これからも、休日増加や高齢化の進展に伴い、一層の増加が懸念されます。

また、高齢化の進展に伴い、多様化する火災発生の中で、尊い人命災害が起きてくることは憂慮に堪えません。

そして今年六月末日まで山菜取の遭難者が三十一名にのぼり、その内、死者行方不明が十一名となっております。これからも、休日増加や高齢化の進展に伴い、一層の増加が懸念されます。

本日はそのようなことから、一年一回一堂に会し、われわれ消防の使命をもう一度確認をし、明日に向かって大きく雄飛する機会であり、お互いに友好親善を深めるとともにわれわれの社会的使命を皆んなで確認し合い、より頼られる消防人として、一層勤むことを皆々ともにお願いを申し上げ開会の挨拶とします。

前年度大会における 決議事項の処理報告概要

昨年七月十七日日本庄市において開催した第四十四回全県消防大会の決議事項は、処遇関係4件、財政関係1件の5件であり、関係機関に要望書を提出して、その主旨を説明し、実現されるように強く要望いたしました。

要望事項への 回答要旨

1. 消防団員の賞じゅう及び殉職者特別賞じゅう金の増額について
 (能代市山本支部提出)
 大曲市山本支部提出
 大曲市山本支部提出
 賞じゅう金及び殉職者特別賞じゅう金の取扱いについて、市町村消防賞じゅう金及び殉職者特別賞じゅう金の取扱いとしており、現段階では本県の市町村のみが国や県の基準を超えて増額することは困難であり、逐次その増額と処遇の改善を図っていく所存であります。
2. 賞じゅう金取扱いの改善について
 (大曲市山本支部提出)
 賞じゅう金及び殉職者特別賞じゅう金等については秋田県市町村議会議員・消防団員等公務災害補償組合による条例制定補助金の取扱いとしており、現段階では本県の市町村のみが国や県の基準を超えて増額することは困難であり、逐次その増額と処遇の改善を図っていく所存であります。
3. 消防団員の出勤費用弁償の増額について
 (男鹿南支部提出)
 消防団員の費用弁償については、各市町村とも毎年若干ずつであるが増額をしていますが、各市町村の財政事情を踏まえた上で、均衡のとれた額に引き上げられるよう市長会、町村長会等を通じて引き続き指導して参ります。(次頁へつづく)

5月の火災発生件数(全県)

月	建物	その他	死者	り世	災者
5月	21	14	0		12
累計(1月~5月)	125	49	10		111
前年累計(1月~5月)	144	96	11		130
前年対比	△19	△47	△1		△19

高義商事株式会社

秋田県横手市寿町2番9号
 TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ
 トーハツポンプ
 各種消防機械器具
 消防設備保守点検

キンパイホース
 キンパイホース
 各種消火器

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50)4370号
 指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)
 秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト
 (保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は
猿田興業株式会社
 秋田市山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)
 火災報知設備・消防ポンプ・消火器

県の機関の完全週休二日制についてのお知らせ

『県の機関は9月から
 毎週土曜日が
 休みとなります。』

(前頁のつづき)

4. 山の遭難による捜索対策について (湯沢市雄勝郡支部提出) 消防組織法という公務と消防隊員による捜索活動は同法第十五条の消防隊員としての救済が適当である場合がある。...

5. 消防施設等整備費補助事業採択基準の見直しについて (本庄市由利郡支部提出) 国庫補助に依る最低補助限度額の引き上げについては、臨時行政改革審議会の答申をもとに、...

6. 防火帽の装備について (湯沢市雄勝郡支部提出) 魅力ある消防団の育成のためには、処遇の充実を図ることが当然である。...

提案議題の要望主旨

(議 題)

1. 消防団員退職報償金制度に関して 消防団員退職報償金制度が昭和三十九年四月に創設された。...

2. 消防団員の報酬及び費用弁償について (大館市由利郡支部提出) このことについては、近年社会情勢の進展による地域生活の環境の著しい変化により各種災害が多様化しております。...

3. 消防団員の処遇改善について (本庄市由利郡支部提出) 雲仙普賢岳は、約二百年ぶりに噴煙を上げてから一年半、消防団員等死者、行方不明者四十三人を出した。...

4. 消防団員の報酬及び費用弁償の増額について (横手市平鹿郡支部提出) 我々消防団員は、自分たちの地域は自分たちで守るという基本理念による郷土愛護の精神に基づき、...

5. 叙勲・褒章対象基準の見直しについて (大崎市仙北郡支部提出) 今日消防は、地域社会に起るほとんどあらゆる災害に対処して活動する任務を持っており、地域住民の安全管理者としての役割を果してきたところである。...



横手市平鹿郡支部消防本部音楽隊の演奏

大火噴流から約一年が経過したものの、火山活動は依然治まる様子はない。また日台風十九号は近年にない暴風となり、各地に多大な被害をもたらすなど、その災害内容は大規模化、複雑化、長期化しているところである。

こうした状況の中で、我々消防団員は「自分たちの地域は自ら守る」を基本に、郷土愛護の精神に基づき、地域住民の安全確保と災害から最小限の被害とを避けるべく自己の生命の危険を顧みず消防業務に従事しているところである。

これまで、我々消防団員の処遇改善については、福利厚生の上、退職報償金の増額改正、互助年金制度の導入等、鋭意努力されているところであるが、しかし近年、環境の変化、過疎化に伴う若者の減少、職域の多様化等により、いよいよ困難な状況となっている現状である。

こうしたときに、我々消防団員は今後一層の熱意あふれる団員の確保のためにその報酬及び費用弁償について地方交付税の額まで引き上げよう、県協会が基準をつくり、全市町村が統一した処遇の大巾な改善、

整備の充実等積極的な施策を取り入れ魅力ある消防団づくりにつとめなければならないところでもあります。...

また費用弁償の若干の改善がなされているところであり、また退職報償金の引き上げ等の努力がなされているところであり、我々消防団員が休職を取り参加し活動した場合その相当額の日常の補償、また、消防団員の報酬および費用弁償を県内一律地方交付税費内訳額まで増額されるよう強く要望するものである。

一した処遇改善が期待される。...

二消防団員の報酬及び費用弁償の増額について (横手市平鹿郡支部提出) 我々消防団員は、自分たちの地域は自分たちで守るという基本理念による郷土愛護の精神に基づき、地域住民の安全確保と災害から最小限の被害とを避けるべく自己の生命の危険を顧みず消防業務に従事しているところである。...

現在、国が行っている消防関係者についての表彰には、叙位、叙勲、褒章等各種制度があり、それぞの趣旨に即した運用がなされているところであり、また、秋田県消防協会代理総務部長 廣瀬 昭、秋田県議会議長代理副議長 伊藤 憲一、衆議院議員 川俣 健二、参議院議員 御法川 英文、横手市長 佐々木 満、秋田県議会議長代理委員長 小松 正一、秋田県議會議員 佐藤 次男、秋田県議會議員 谷 藤 昌二、秋田海上保安部長 石谷 恒夫、秋田県生活環境部長 古 龍 悦、秋田県平鹿地方部長 石 田 元、衆議院議員 野呂 芳成代理、後援会事務局次長 佐藤 邦 昌、衆議院議員 鈴木 邦 憲、大森 町 長、阿部 勝 行、増田 町 長、石山 米 男、平鹿 町 長、最上 正 市、雄物川 町 長、富田 弘 二、十文字 町 長、西成 辰 雄、山内 町 長、佐々木 昭 三、大雄 村 長、永瀬 良 治

御臨席の来賓御芳名

- 自治省消防庁長代理審議官 松本 和 雄、秋田県知事代理副知事 池田 竹 二郎、日本消防協会代理総務部長 廣瀬 昭、秋田県議会議長代理副議長 伊藤 憲一、衆議院議員 川俣 健二、参議院議員 御法川 英文、横手市長 佐々木 満、秋田県議会議長代理委員長 小松 正一、秋田県議會議員 佐藤 次男、秋田県議會議員 谷 藤 昌二、秋田海上保安部長 石谷 恒夫、秋田県生活環境部長 古 龍 悦、秋田県平鹿地方部長 石 田 元、衆議院議員 野呂 芳成代理、後援会事務局次長 佐藤 邦 昌、衆議院議員 鈴木 邦 憲、大森 町 長、阿部 勝 行、増田 町 長、石山 米 男、平鹿 町 長、最上 正 市、雄物川 町 長、富田 弘 二、十文字 町 長、西成 辰 雄、山内 町 長、佐々木 昭 三、大雄 村 長、永瀬 良 治

森田ポンプ ラビットポンプ、各種消火器、簡易自動消火装置ユーホ

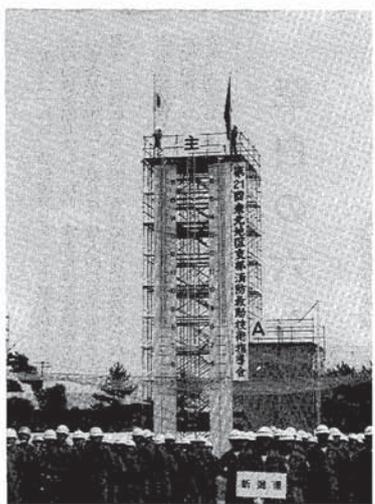
消防半天・帯・団旗、優勝旗・ゼッケン、手拭・タオルのれん、旗幕類名入染物専門

総代理店 消防設備士、消防機器A級店、秋田県 入札資格、株式会社 高義商会

株式会社 協立 寺田染工場、能代市栄町12の3 〒016、TEL (0185)(52)6361代表、横手市清川町 ☎32-0416

消防秋田

題字 初代会長 松野盛吉
 定価 1部 5円
 秋田市中通4丁目3-23
 発行人 秋田県消防協会
 会長 栗田康二郎
 電話 0188-32-3791
 FAX 0188-34-2706
 郵便番号 010
 印刷 秋田市山王7丁目5-29
 株式会社 松原印刷社
 電話 0188-62-8760



国旗協会旗掲揚

東北七県の消防職員の精鋭 — 消防救助の技を競う

第二十一回東北地区支部 消防救助技術指導会

第二十一回東北地区支部消防救助技術指導会が、去る七月十六日秋田市八橋総合運動公園において開催され、東北七県から選抜された消防職員が参加し、日頃鍛えた体力と技術を競い合った。

この大会は、各種の災害現場において人命を救助するための技術を練磨することを目的として、昭和四十七年から実施されているもので、秋田県において開催されたのは、今回が初めてである。

定刻の午前九時、観開合に会長が登壇、大会本部前には大会役員および来賓が整列するなか、横手平鹿広

域消防本部音楽隊アッパンドの演奏する軽快な行進曲ののって訓練役員を先頭に各県から選抜された消防職員の精鋭約六〇名の選手団が、一糸乱れぬ堂々たる入場行進を行い、大会会長に敬礼、場内一周して定位置についた。

続いて、秋田市消防本部の中山富治消防長が開会を宣言し、国旗、協会旗を掲揚後、大会会長のあいさつがあり、次いで秋田県知事、秋田市市長、秋田市議会議長および全国消防協会長が祝辞を述べられた。

次に、審判長である横手平鹿広域消防本部の高橋操消防長から訓練上の注意事項



開会式

平成四年度全国統一防火標語
 “点検を重ねて築く 火災ゼロ”

および個人技を五時間余にわたって競い合った。

閉会式では高橋操審判長が「個人種目では、孤独に耐え体力の限界に挑戦する姿は、見応えがあった。団体競技は、隊員がお互いに励まし合い、助け合い、素晴らしいチームワークを発揮していた。安全性の確保について更に進捗してほしい。八月二十八日千葉市で開催される全国大会には優秀な成績を挙げたよう希望する」旨の講評があり、国旗、協会旗を降納し、秋田市消防本部中山富治消防長の閉会宣言により、より速く、より確実に人命優先の救助技術を競った大会の幕を閉じた。

大会終了後、八月二十八日千葉市で開催される全国大会に出場する団体および個人について選考会を開催し、次のとおり発表された。

本県からは、はしご登はん競技に秋田市消防本部の小野昭博選手と大曲仙北広

域消防本部の崎津寛典選手、はしご救出に鷹巣阿仁広域消防本部チーム、ロープ登はん競技に大曲仙北広域消防本部Bチームが全国大会に出場する栄誉を担ったので、更に精進して優秀な成績を取らねばならぬ期待した。

一、斜めブリッジ救助の部
 上越地域 新潟県
 二、高所人命救助の部
 水原郷消防本部 新潟県

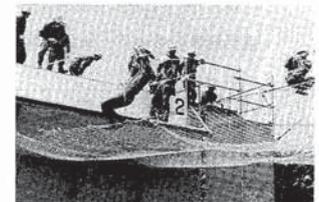
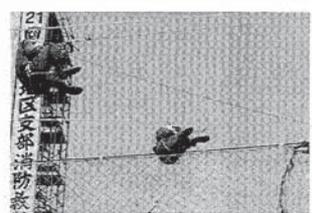
三、ロープ登はん
 入野 伸啓 (栗原地域宮城県)
 工藤 正人 (西村山広域山形県)
 水本 誠 (盛岡地区岩手県)

四、障害突破
 新潟市消防局 新潟県

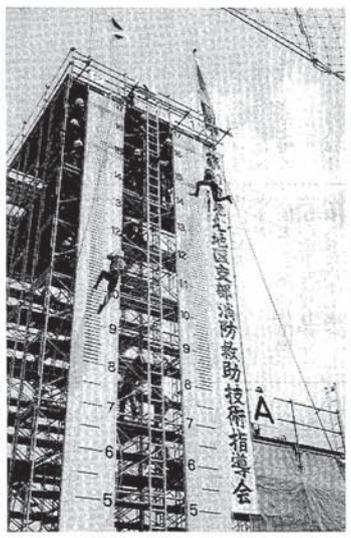
五、はしご登はん
 豊栄市消防本部 新潟県
 新発田地域消防本部 新潟県

六、はしご救出
 原正幸 (新発田地域新潟県)

ロープブリッジ救出競技



- (一) 小野 昭博 秋田県
- (二) 崎津 寛典 秋田県
- (三) 鷹巣 阿仁 秋田県
- (四) 工藤 正人 山形県
- (五) 水本 誠 岩手県
- (六) 西村山広域消防本部 山形県
- (七) 阿部 康成 青森県
- (八) 伊藤 大志 宮城県
- (九) 大曲仙北広域消防本部 秋田県
- (十) 南 佐渡 新潟県
- (十一) 引揚救助 新潟市消防局 新潟県
- (十二) 郡山地方広域消防本部 福島県
- (十三) 長岡市消防本部 新潟県
- (十四) 白河地方消防本部 福島県
- (十五) 小林 寿昭 新潟県
- (十六) 西村山広域消防本部 山形県
- (十七) 鷹巣阿仁広域消防本部 秋田県
- (十八) 大曲仙北広域消防本部 秋田県
- (十九) 伊達地方消防本部 福島県
- (二十) 弘前地区消防本部 青森県
- (二十一) 長内雄二 (川西町)山形県



ロープ登はん競技

高義商事株式会社

秋田県横手市寿町2番9号
 TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トンハンポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シンパラボンプ
- 各種消火器

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50)4370号
 指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)
 秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト
 (保守点検)が決めて!



猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10-9 電話 633-1551(代)
 火災報知設備・消防ポンプ・消火器

森田ポンプ ラビットポンプ
 桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
 各種消火器 ガス水道工事一般
 簡易自動消防装置ユーホ ¥25,000

株式会社 協立

能代市栄町12の3 〒016
 TEL (0185) (52)6361代表

現 場 人

国際消防協力官 三 浦 勉

(消防の動き二五七七より)

火災現場、事故現場と消防に「現場」はつきものだ。聞いたこともないわが町の現場に、足を運んでみると、そこには、火災、地震、突如としておこった災害があり、そこに、消防に求められる役割がある。消防とは何ぞや、と問われると、多くの人は「火を消すこと」と答える。しかし、消防の役割は、火を消すだけでなく、火災の原因を調査し、再発防止を図ること、火災発生時の応急処置を行うこと、火災発生時の被害を最小限に抑えることなど、多岐にわたる。消防の仕事は、決して単調な仕事ではない。常に現場で、さまざまな状況に立ち会わなければならない。消防の仕事は、常に現場で、さまざまな状況に立ち会わなければならない。消防の仕事は、常に現場で、さまざまな状況に立ち会わなければならない。

県の機関の完全週休二日制についてのお知らせ

県の機関は9月から 毎週土曜日が休みとなります。

ただし、次の機関は従来どおり業務を行うこととします。

- ① 脳血管研究センターの病院(病棟及び外来部門)、高清水学園、太宰療育園、千秋学園、中央児童相談所、婦人相談所、児童会館、博愛館、児童生進学習センター、児童会館、県立中央公園スポーツセンター、水戸公園スチーピンググラウンドなど週末に多く利用されている機関
- ② 運転免許センターは、土曜日休みとなり、日曜日及び今までの業務を行います。
- ③ 完全週休二日制の実施に当たっては、行政サービスを極力低下させないようになっていますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

県総務部人事課
田 018-610-4000
田 018-610-4001
田 018-610-4002
田 018-610-4003
田 018-610-4004

第十五回全国消防職員意見発表

五月十八日、仙台国際センターで第十五回全国消防職員意見発表が行われた。最優秀賞に選ばれた意見の内容を紹介する。なお、審査長は宮城教育大学・伊藤光蔵校長である。(審査長の経歴)：意見は、個人的なものにとどまらず、社会的な広がりをもつ必要がある。皆さんの意見が、災害にどう対処するかの具体的な案になれば、と思う。

空白の六分間

九州支部代表 小山英昭

四月前の秋の夜のことです。私の友が、涙声で電話をかけてきました。「オレ、いま病院におとよ。危ないかも分からん。私はなんのこかかんから。詳しく尋ねてみまはし。」

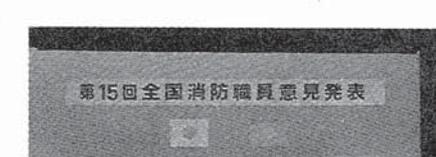
それは、実家に帰って、一歳の長女が、目を離した先きにいなくなり、家族全員で探したところ、昨夜の残り湯が入っている浴槽の底にうつ伏せて沈んでいた、と言っています。彼は慌てて抱き上げました。だが、子供の顔色は青白く、ぐったりしており、名前を呼んでも返事もなく、呼吸もしていません。彼は、うろたえながら、子供の足を持って背中を叩き、水を吐かせました。そして、自分の腕の上に仰向

き渡り、病院に向かいしました。三分間から五分間、水中に沈んでいた子供は、危険な状態が続き、医師の即断による人工呼吸のあつて、なんの障害も残さず、一週間後、無事退院することができたのです。

「あの時は無気味なやつたけど、お前に人工呼吸の方法を教わっちゃって、本当によかった。」

(そうか。おれが教えたんだ。)

私は消防の世界に入ってから八年間、友人や知人と話す機会があるたびに、雑談として、激しかった事故のような事や、救助、救助の



第15回全国消防職員意見発表

事例、応急処置の方法などを話していたのです。よく聞いて、応急処置のために、いざという時のために知っておいたほうがよいからと、妻に話したのがきっかけで、身近な人にも広めてほしいという。単純な気持ちで話した。それが、決してむだではなかったんだと改めて感じました。私に大きな目と誇りと与えてくれた。私の心に響いた。



最優秀賞の賞状を受ける小山さん

6月の火災発生件数(全県)

月	建物	その他	死者	災害	損害
6月	22	12	3	21	
計A(1~6月)	147	61	13	132	
計B(前年1~6月)	162	105	14	163	
対前年比	△15	△44	△1	△31	

消防互助年金に加入しましょう。

消防団員・消防補助員・消防団員(未成年)の火災・火災救助・火災被害軽減に資する。消防互助年金に加入を!

(20歳加入、60歳年金開始の場合)

120万円 (20年間積み立て) / 約1,368万円 (10年間受取額累計) / 約3,207万円 (20年間受取額累計)

20年間の積み立て(月額5,000円) / 10年間の受取額累計 / 20年間の受取額累計

財団法人 日本消防協会

消防 半旗・団旗・ゼッケン・タオル・のれん・手拭・タイル・幕類・名入れ・染物専門

寺田染工場

横手市清川町 32-0416

総合防災設備設計、施工

総代理店
消防設備士
秋田県 消防機器A級店
入札資格

株式会社 **高義商会**

防炎器具検査 防煙器具検査 消防機器修理

千012-01 本社 秋田県横手町 電話 (0183)(42)2125-2126
千012 藤沢市田町 電話 (0183)(73)2588-2932
千019-05 十文字町本町 電話 (0182)(42)0032
高義グループ店 秋田市、大館市、天童市、鹿角市

消防秋田

吉盛 松野 初代会長
 5円 1部 定価
 3-23 4丁目 中通 秋田市中
 会 田 康 田 消防協
 会 会 会 会
 0188-52-3791 電話
 0188-34-2706 FAX
 010 郵便番号
 29 秋田市山王丁目5-29
 株式会社 松原印刷社
 0188-62-8760 電話

第二十九回 全県消防訓練大会

九月三日県消防学校において開催



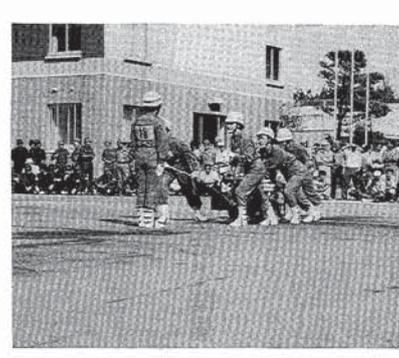
優勝 軽可搬ポンプ操法
 比内町消防団
 山本町消防団
 中仙町清水婦人消防隊

第二十九回全県消防訓練大会は九月三日午前十時から秋田県消防学校放水訓練場において開催した。この訓練大会は、秋田県及び日本消防協会が主催、日本消防協会が後援し、日本船舶振興会が協賛し、秋田県消防長会が後援し、日隊員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実強化に資することを目的として毎年行っているものである。

この大会には、各支部から選出されたポンプ車操法

の部七チーム、小型ポンプ車操法の部一〇チーム、軽可搬ポンプ操法の部五チームの精鋭百余名が参加し、日頃鍛えた消防技術の技術を競いあった。

大会は午前十時、機手平鹿広域消防本部音楽隊アンプバンドの皆さんが、金沢広治音楽隊の指揮によって演奏する行進曲に乗って、総指揮者である山内村消防団長下村勇氏の号令により、参加した二十二チームの精鋭百余名は各団旗を先頭に、精気みなぎる堂々の分列行進



上和吉消防学校長から、審査要領により厳正にして公平な審査するとの訓諭の上の指示がなされた後、出場チームを代表して鹿角市消防団団長、田口誠三選手が、消防精神に則り、正々堂々と競技し、消防操法を実施するという力強い選手宣言を行い、開会式を終了した。

操法は、ポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部および軽可搬ポンプの部の順にそれぞれ抽せん願ひ合った。この抽せん願ひは、何れも各支部代表として、この日の栄誉を目指して、猛訓練を積み重ねてきただけあって、指揮者の熱誠溢れる号令により、俊敏にして的確なる消防操法を展開し、日頃鍛えた技術を余すところなく駆使し、各支部の互呈に広げ、熱い戦いを繰り上げた。

また、これらの選手心接をかけた消防団の幹部

開会式は、奥山嶺秋田県消防防災部長の閉会宣言によって始まり、国旗掲揚の後、前年度においてポンプ車操法の部、および小型ポンプ並びに総合優勝を成し遂げた比内町消防団および鹿角市消防団から、優勝旗の返還がなされた。

統一、主催者である、古屋龍児秋田県生活環境部長(秋田県知事代理)並びに秋田県消防防災部長(秋田県知事代理)並びに鹿角市消防団長、山本町消防団長、中仙町清水婦人消防団長から、本大会は、消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実強化に資することを目的として、毎年行っているものであり、各チームは、地域住民の期待に応え、日頃鍛えた消防技術の成果を存分に発揮し、優秀な成績を取められるよう期待するとの激励をこめた挨拶があり、激賞として秋田県会福祉環境委員長小松正一氏からお祝いの詞を頂き、奥山嶺消防防災部長が消防団長官からのメッセージ(別掲)を披露した。

その後、大会審査長の井

同僚、家族は夫々のテントから熱い声援を送り、盛んな拍手により選手のをねぎらうなど、会場内は終始、緊張の中にも和やかな応援風景が見られる中、競技が進行し、三時間余にわたる操法訓練を終えた。

閉会式は、まず井上審査長から、出場した各チームの操法技術は、向上著しく、甲乙つけがたい内容となり偉業で順位を決定したとの謝辞の後、大会成績が次のように発表された。

- ポンプ車操法の部
- 第一位 比内町消防団
 - 第二位 大角市消防団
 - 第三位 山本町消防団
- 小型ポンプ操法の部
- 第一位 山本町消防団
 - 第二位 仙南村消防団
 - 第三位 大角市消防団
- 総合の部
- 第一位 男鹿南秋支部
 - 第二位 能代市山本支部
 - 第三位 鹿角市支部
- 軽可搬ポンプ操法の部
- 第一位 中仙町清水婦人

引続き、表彰が行われ、優勝した山本町消防団に消防団長官優勝旗及び秋田県知事優勝旗が授与され、ポンプ車操法の部で優勝した比内町消防団に秋田県消防協会長優勝旗が授与され、総合優勝した男鹿南秋支部に日本消防協会長優勝旗が授与された。

また、小型ポンプ操法の部、ポンプ車操法の部および軽可搬ポンプ操法の部において入賞したチームには秋田県知事賞および秋田県消防協会賞がそれぞれ授与された。

続いて出場選手を代表して、男鹿南秋支部、大角市消防団、山本町消防団、中仙町清水婦人消防団、鹿角市消防団、大角市消防団、山本町消防団、中仙町清水婦人消防団の各団長が、本日の栄誉におこなごとの謝辞を述べ、地域住民の安全確保に努力する覚悟を披露する答辞を行った。

最後に秋田県消防防災部長(秋田県知事代理)の発声により万歳を三唱し、関富治秋田県消防協会副会長の閉会のご挨拶により第二十九回全県消防訓練大会の幕を閉じた。

本年は、第十三回全国消防操法大会が、来る十月十四日(水)、横浜市の日清中央訓練場において開催されるが、小型ポンプ操法の部において優勝した、山本町消防団が出場する。

また、十月二十一日(水)に開催の第八回全国婦人消防操法大会には前年度優勝した婦人消防団、平成一五年度の第九回全国婦人消防操法大会に出場することになる。

全国大会において優勝することとは本県消防の大きな願望である。出場する消防

消防隊

- 第二位 大雄村北部婦人消防隊
- 第三位 鷹巣町七日市婦人消防隊

消防防災部長の皆さんのご奮闘を期待する。

消防庁長官メッセージ

第二十九回秋田県消防訓練大会が、盛大に実施されましたことを、心からお祝い申し上げます。

消防団の皆様におかれましては、地域住民の安全とやすらぎのある郷土づくりのため、日夜献身的なご尽力をいただいております。ことに深く感謝申し上げます。

しかしながら、近年、災害の様相は、ますます複雑・多様化し、今年に入ってからも、茨城県取手市の電車衝突事故、茨城県守谷町の花火工場爆発事故などが発生し、また、昨年、大規模火災連続により多くのいたましい犠牲者を出した長崎県雲仙町の火山活動は、なお長期化の様相を見せております。

このような災害に的確に対処するために、消防団員各位が、日頃の訓練によって培われた技術と士気をこの大会において遺憾なく発揮され、住民の期待に十分に応えられるよう希望いたします。

皆様のご健勝と秋田県消防の益々のご発展を祈念いたします。

平成四年九月三日
 消防庁長官
 浅野 大三郎

7月の火災発生件数(全県)

月	建物	その他	死者	けが	災害
7月	10	15	1		6
計A	157	76	14		138
計B	175	110	14		172
対比	△18	△34	0		△34

高義商事株式会社

秋田県横手市町2番9号
 TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ
 トーハツポンプ
 各種消防機械器具
 消防設備保守点検

キンパイロ
 ンバロ
 ン各種消
 火器

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50)4370号
 指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)
 秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト
 (保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10-9番63-1551(代)
 火災報知設備・消防ポンプ・消火器

森田 ポンプ
 桜ホース・ソフト吸管
 各種消火器
 簡易自動消防装置ユーホ

ラビットポンプ
 消防被服一式
 ガス水道工事一般
 ¥25,000

株式会社 協立

能代市栄町12の3 〒016
 TEL (0185) (52)6361代表

消防互助年金加入状況表

平成4年10月1日加入日現在

消防団名	団員数	目標数	加入者数	加入率
小坂町	216	22	10	4.6
森吉町	233	24	10	4.2
阿仁町	208	21	7	3.3
合川町	200	20	3	1.5
上小阿仁村	141	15	3	2.1
秋田市	1,518	152	44	2.8
男鹿市	704	71	16	2.2
昭和町	188	19	2	1.0
八郎潟町	133	14	3	2.2
飯田川町	94	10	0	0
井川町	176	18	2	1.1
仁賀保地区	801	81	24	2.9
矢島町	202	21	2	0.9
由利町	184	19	0	0
東由利町	170	17	3	1.7
鳥海町	385	39	16	4.1
大曲市	498	50	7	1.4
西仙北町	251	26	6	2.3
中仙町	320	32	1	0.3
協和町	268	27	10	3.7
太田町	110	11	0	0
仙北町	121	13	1	0.8
千畑町	211	22	7	3.3
雄勝町	558	56	10	1.7
羽後町	734	74	16	2.1

消防互助年金の加入推進については、消防団職員皆様の御理解御協力によりまして、今年度において、新たに一三名の方々に加入いただきました。これにより、本県加入者総数は、二、三三名となりました。本制度の有利性を理解され、着実に消防団職員に浸透されつつあることは、喜ばしいことです。将

来の豊かな生活を送ることのできる消防互助年金に加入し、幸福の輪を広げましょう。今年度は、新たに六百人の加入を目標に、推進することとしておりますので、各消防団および消防本部の加入の年金です。皆さんでた入り、明るい豊かな生活を営むよう消防団職員の皆さんで頑張りましょう。

消防本部名	職員数	目標数	加入者数	加入率
大館周辺広域	104	11	3	2.8
二ツ井藤里地区	44	5	2	4.5
湖東地区	52	6	1	1.9
秋田市	255	26	2	0.7
本荘地区	108	11	4	3.7
仁賀保地区	56	6	0	0
矢島地区	45	5	0	0

ゆたかな未来を築くため、
消防互助年金の加入を
呼びかけましょう



財団法人・日本消防協会では、財団法人日本船舶振興会の後援、新潟県・長岡市・長岡市消防本部・新潟県消防協会の協力により、平成4年度北海道・東北ブロック防災用車両・資器材

平成4年度
北海道東北ブロック
防災用車両交付式
新潟県長岡市で開催

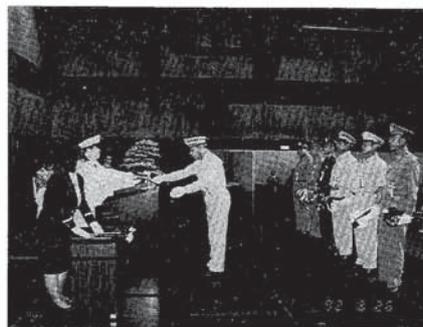
交付式は八月二十六日(水)午前十時から新潟県長岡市のハイブ長岡を会場として、交付を受ける北海道・東北地区の交付対象機関団体関係者多数が参加して盛大に開催された。

この交付式は、都市構造の変化、生活様式の高次元化により災害態様も複雑多様化、大規模化している状況の中にあつて、火災・救急・救助事象から国民の生命・身体・財産を守るた

平成4年度消防互助年金支部別加入状況

平成4年10月1日加入日現在

支部名	本年度			加入累計
	加入目標数	加入実績	加入率	
鹿角	15	5	33.3	137
大館北秋田	72	3	4.1	279
能代市山本郡	47	38	80.8	357
秋田市	33	0	0	46
男鹿南秋	84	11	13.0	185
河辺	10	5	50.0	143
本荘市由利郡	88	2	2.2	204
大曲市仙北郡	135	24	17.7	337
横手市平鹿郡	70	23	32.8	451
湯沢市雄勝郡	70	2	2.8	163
消防協会				11
合計	624	113	18.1	2,313



め、救急車等の防災用車両、資器材を全県各地の消防団に配備し、消防力の充実強化に寄与するため財団法人・日本消防協会が毎年、行っているものである。本県からは、柴田康二郎県消防協会会長ほか、交付関係機関から消防長・消防団長および市町村担当者が参列した。

- 二、八電町消防団
- 三、消防指揮広報車一台
- 四、羽後町消防団
- 五、軽可搬消防ポンプ
- 六、大館市第一婦人消防隊
- 七、大館市第二婦人消防隊
- 八、大館市二井田婦人消防隊
- 九、大館市釈迦内婦人消防隊
- 十、阿仁町萱草婦人消防隊
- 十一、阿仁町荒瀬婦人消防隊
- 十二、能代市扇洲地区婦人消防隊
- 十三、能代市浅内地区婦人消防隊
- 十四、秋田市木曾石婦人消防隊



隊 雄和町萱ヶ沢婦人消防

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺田染工場

横手市清川町 電話32-0416

本事業は、モーターボート競争
公益資金による(財)日本船舶振興
会の補助金を受けて(財)日本消防
協会が援助する事業である。

総合防災設備設計、施工

総代理店
消防設備士
秋田県
消防機器A級店
入札資格

株式会社 高義商会

防炎施設
避難器具
検査
機械修理

〒012-01 本社 秋田県船川町 電話 (0183) (42)2125-2126
〒012 藤沢市田町 電話 (0183) (73)2588-2992
〒019-05 十文字町本町 電話 (0182) (42)0032
高義グループ店 秋田市、大館市、天町、鹿角市

十月は、消防互助年金の強化月間です。 消防互助年金に積極的に加入しましょう。

消防互助年金加入状況表

平成4年10月1日加入日現在

消防団名	団員数	表彰基準1割達成数	計	加入率	消防団名	団員数	表彰基準1割達成数	計	加入率
1鹿角市	888	89	104	11.7	35由利町	184	19	0	0
2小坂町	216	22	10	4.6	36大内町	205	21	39	19.0
3大館市	847	85	137	16.1	37東由利町	170	17	3	1.7
4鷹巣町	310	31	48	15.4	38西目町	133	14	33	24.8
5比内町	263	27	42	15.9	39鳥海町	385	39	16	4.1
6森吉町	233	24	10	4.2	40大曲市	498	50	7	1.4
7阿仁町	208	21	7	3.3	41神岡町	105	11	13	12.3
8田代町	188	19	15	7.9	42西仙北町	251	26	6	2.3
9合川町	200	20	3	1.5	43角館町	304	31	18	5.9
10小阿仁村	141	15	3	2.1	44六郷町	165	17	9	5.4
11能代市	615	62	110	17.8	45中仙町	320	32	1	0.3
12琴丘町	127	13	20	15.7	46田沢湖町	299	30	39	13.0
13二ツ井町	286	29	36	12.5	47協和町	268	27	10	3.7
14八森町	176	18	9	5.1	48太田町	110	11	0	0
15山本町	195	20	33	16.9	49仙北町	121	13	1	0.8
16藤里町	127	13	17	13.3	50南外村	177	18	12	6.7
17八竜町	138	14	44	31.8	51西木村	147	15	46	31.2
18峰浜村	180	18	30	16.6	52千畑町	211	22	7	3.3
19秋田市	1,518	152	44	2.8	53仙南村	143	15	9	6.2
20男鹿市	704	71	16	2.2	54横手市	620	62	64	10.3
21五城目町	262	27	49	18.7	55増田町	333	34	29	8.7
22昭和町	188	19	2	1.0	56平鹿町	500	50	27	5.4
23八郎潟町	133	14	3	2.2	57雄物川町	543	55	44	8.1
24飯田川町	94	10	0	0	58大森町	285	29	39	13.6
25天王町	253	26	44	17.3	59十文字町	541	55	89	16.4
26若美町	171	18	19	11.1	60山内村	220	22	32	14.5
27井川町	176	18	2	1.1	61大雄村	254	26	93	36.6
28大潟村	52	6	30	57.6	62湯沢市	845	85	43	5.0
29河辺町	386	39	76	19.6	63稲川町	462	47	44	9.5
30雄和町	309	31	38	12.2	64雄勝町	558	56	10	1.7
31本荘市	505	51	57	11.2	65羽後町	734	74	16	2.1
32仁賀保地区	801	81	24	2.9	66東成瀬村	216	22	15	6.9
33矢島町	202	21	2	0.9	67皆瀬村	209	21	22	10.5
34岩城町	170	17	26	15.2	小計	21,778	2,207	1,946	8.9

人生八〇年代の長寿社会にあって六十五歳以上の夫婦が、ゆとりある生活を送るには、月三十万円程度必要といわれます。公的年金だけでは、毎月十万、二十万円が不足すると思えます。足りない分は、どのように賄いますか、いつでも働いて稼ぐか、日ごろから貯蓄に励むか、どちらも大変なことです。

中には、「他にはいっているから、大丈夫」という方もいらっしゃるでしょう。それは、あなたの今、はいつている制度と比べてみて下さい。消防互助年金の方が少ない。消防互助金は断然有利であることがわかっていただける。

消防本部名	職員数	表彰基準1割達成数	計	加入率
鹿角市	55	6	23	41.8
大館周辺広域	104	11	3	2.8
鷹巣阿仁広域	86	9	11	12.7
能代地区	96	10	25	26.0
二ツ井藤里地区	44	5	2	4.5
山本郡南部地区	39	4	31	79.4
男鹿地区	111	12	11	9.9
湖東地区	52	6	1	1.9
五城目町	27	3	8	29.6
秋田市	255	26	2	0.7
河辺雄和地区	32	4	29	90.6
本荘地区	108	11	4	3.7
仁賀保地区	56	6	0	0
矢島地区	45	5	0	0
大曲仙北広域	224	23	159	70.9
横手平鹿広域	159	16	34	21.3
湯沢雄勝広域	115	12	13	11.3
秋田県消防協会			11	
小計	1,608	169	367	22.8
合計	23,386	2,376	2,313	9.8



初代会長 松野盛吉
定価 1部 5円
秋田市中通4丁目3-23
秋田県消防協会
会長 柴田基一郎
電話 0188-32-3791
FAX 0188-34-2706
郵便番号 010
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 0188-62-8760

平成四年度全国統一防火標語
“点検を重ねて築く
火災ゼロ”

●受取率上位の他の年金制度との年金額比較

年金開始年齢	年金種別	加入年齢	払込期間	振替期間	掛金累計A	10年間の受取率	
						初年度 年金月額	支払総額 B/A
60	消防互助年金 生保年金	35歳	20年	5年	120万円	29,250円	402万円 3.35倍
65	消防互助年金 生保年金	35	20	5	120	17,700	308 2.57
	消防互助年金 生保年金	40	20	5	120	32,900	452 3.77
	消防互助年金 生保年金	40	20	5	120	19,880	346 2.88

平成四年度 消防職員初任教育修了式

四十九名の新鋭巣立つ

平成四年度の消防職員初任教育第四十六期生修了式が十月九日(金)午前十一時から秋田県消防学校講堂において行われた。

この初任教育課程は、本県消防の将来を担う各消防本部の新採用職員を対象に行っているもので、消防学校における最も教育期間の長い教育訓練の一つとなつてゐる。

この日、修了式を迎えた学生は四十九名であり、本年四月八日に入校し、消防に関する基礎学科及び実技訓練等に励むこと六ヶ月間、及び、この間における厳しい訓練に耐え、自らを錬成し、所定の全課程を履修した。

修了式は、まず井上学校長から修了證書が石塚厚はか四十八名に授与され、古屋生活環境部長から「危険物取扱者講習修了証、危険物取扱者免状が、また、井上学校長から日赤救急修了証および無線従事者免許証がそれぞれ授与された。次いで学校長感謝状が総代、副総代および会計を担当した学生に授与された。

次に、井上学校長の挨拶があった後、古屋生活環境部長から挨拶があり、続いて消防長会会長から祝辞があり、修了生を代表して男鹿地区消防本部の渡部伸明消防士が答辞を述べ、修了式は終了した。

本県消防の新鋭力として巣立つた四十九名の所属および氏名は、次のとおりであり、今後の活躍を期待したい。

- 秋田市消防本部
石塚厚はか
加藤 昌彦
渡辺 彦彦
大塚 彦彦
- 鹿角市消防本部
柳 阿加
藤 部光
博 宏光
幸 明晴

(ウラ面へつづく)



高義商事株式会社

秋田県横手市寿町2番9号
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- キンバイホース
- ターハツポンプ
- シバウラポンプ
- 各種消防機械器具
- 各種消火器
- 消防設備保守点検

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50)4370号
指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)
秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト
(保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は
猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)
火災報知設備・消防ポンプ・消火器

- 森田ポンプ
- ラビットポンプ
- 桜ホース・ソフト吸管
- 消防被服一式
- 各種消火器
- ガス水道工事一般
- 簡易自動火災装置ユーホ
- ¥25,000

株式会社 協立
能代市栄町12の3 〒016
TEL (0185)(52)6361代表



式辞を述べる笹川会長

全国消防殉職者慰霊祭

第十一回

九月二十二日日本消防会館三ツシヨール

第十一回全国消防殉職者慰霊祭は、九月二十二日午前十時から日本消防会館ニッショールにおいて、全国各地から参集の御遺族のほか来賓として行方不明者多数が参列して行われた。...

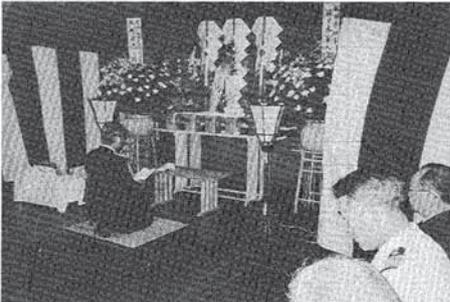
- 大館周辺広域消防本部 石田裕樹
- 鷹巣阿仁広域消防本部 加藤伸博
- ニッ井藤里町消防本部 中嶋伸博
- 能代地区消防本部 山谷康博
- 大塚義美
- 柴田隆昌
- 小林雅仁
- 山本郡南地区消防本部 三浦孝則
- 男鹿地区消防本部 渡辺伸明
- 渡辺茂喜
- 本荘地区消防本部 渡辺茂喜
- 小室伸治
- 田中章治
- 島山伸治
- 仁賀保地区消防本部 半田克喜
- 須田克喜
- 後藤伸宏
- 矢島地区消防本部 阿部賢一
- 大曲仙北広域消防本部 斉藤典之

- 小山田 藤枝秀俊
- 加藤 原正美
- 小松 龍史
- 高橋 史明
- 佐藤 玲緒奈
- 稲垣 浩也
- 後藤 正輝
- 山本 満輝
- 高橋 義典
- 加藤 昌夫
- 小西 建夫
- 佐々木 樹
- 湯沢雄勝広域消防本部 佐々木 樹
- 阿部 克枝
- 高橋 正博
- 佐藤 和成
- 伊藤 昭道
- 藤田 和洋
- 佐藤 貴之
- 藤田 幸章
- 神田 裕和

平成四年度

秋田県殉職消防団(職)員慰霊祭

九月十一日 秋田市千秋公園

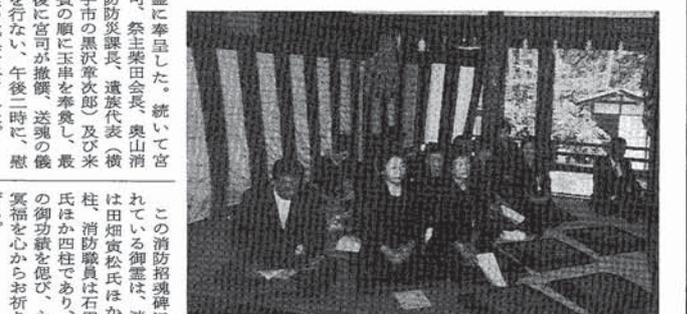


祭文を読む柴田会長

平成四年度秋田県殉職消防団(職)員慰霊祭は、九月十一日秋田市千秋公園本丸の八幡秋田神社の社殿において、秋田県知事(代理)ほか来賓、殉職者御遺族及び消防協会役員等五十名が参列して行われた。...



参列されたご遺族の皆さん



ご遺族の皆さん

8月の火災発生件数 (全県)

月	建物	その他	死者	り世	災帯
8月	17	9	2		9
累計A (1月~8月)	174	85	16		147
前年累計B (1月~8月)	198	122	14		189
前年対比 A-B	△24	△37	△2		△42

本事業は、モーターボート競争公益資金による(財)日本船舶振興会の補助金を受けて(財)日本消防協会が援助する事業である。

速報

本県代表の雄和町萱ヶ沢婦人消防隊が、全国制覇成し遂げる。

十月二十一日(水)横浜市で行われた第八回全国婦人消防団法大会において、雄和町萱ヶ沢婦人消防隊が全員の全国優勝を果たしました。...

ゆたかな未来を築くために

消防員のための消防互助年金に加入を!

(20歳加入、60歳年金開始の場合)

20年間掛金累計 (月額5,000円) 120万円

10年間受取累計 約1,368万円

20年間受取累計 約3,207万円

財団法人 日本消防協会

消防 半天・帯・団旗 優勝旗・ゼッケン 手拭・タオル・のれん 旗幕類名入染物専門

寺田染工場

横手市清川町 ☎32-0416

総合防災設備設計、施工

総代理店 消防設備士 秋田県 消防機器A級店 入札資格

株式会社 **高義商会**

防火施設 避難器具 消火機 機械修理

〒012-01 本社 秋田県横川町 Ⅱ (0183) (42)2125-2126
 〒012 湯沢市田町 Ⅱ (0183) (73)2588-2932
 〒019-05 十文字町本町 Ⅱ (0182) (42)0032
 高義グループ店 秋田市、大館市、天王町、鷹角市

消防秋田

初代会長 松野 盛吉
定 1部 5円 3-23金
秋田市中通4丁目3-23
秋田県消防協 会
会 長 田 康二
電話 0188-32-3791
FAX 0188-34-2708
郵便番号 990-019
秋田市山王丁5丁目5-21
株式会社 松原印刷社
電話 0188-62-8760

おみごと!!日本一に輝く 創設以来の夢果たす

雄和町萱ヶ沢婦人消防協力隊

第八回全国婦人消防操法大会で雄和町萱ヶ沢婦人消防隊は、秋田県の代表として出場し、見事日本一に輝きました。
去る十月二十一日横浜市で開催された同大会は、全国四十七都道府県の婦人消防隊の代表チーム七名が、軽可搬ポンプの速さ、正確さ、動作、号音などの操法を競うもので、日本消防協会から交付された紺の制服に身を包み三組ずつ同時にスタートし、緊迫した中で発揮できるかが大きなポイントであった。
萱ヶ沢婦人消防隊は、六組第二コースに出場し、大会の雰囲気にも勝つことなく落ち着いた操法で、課題であったホース延長もきれいに伸び、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮し、四九秒三四の驚異的なタイムを叩き出した。

平成四年度

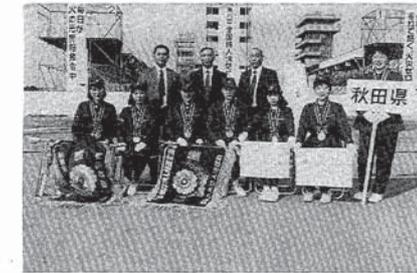
秋の叙勲者発表

本県消防関係十四名が栄誉に輝く

- 叙勲受章者十一月三日、文化の日発表。本県関係では、八十一人、晴れの叙勲に輝いた本県消防関係者は、次の十四名であり、十一月九日県庁特別会議室において、知事から叙勲の伝達が行われた。
- また、十一月十六日には、東京都の日本消防会館ニッシーホールで行われる消防式典に参列し、その後皇居内新宮殿「豊明殿」において、天皇陛下に拝謁することとなった。
- 勲五等瑞宝章
元ツ井町消防団団長 菊地 興七 72
- 勲五等瑞宝章
藤田 豊治 72
- 勲六等単光旭日章
元雄勝町消防団団長 小 松 則男 68
- 勲六等単光旭日章
元横手平鹿広域市町村圏組合消防本部消防監 佐藤 正吉 66
- 勲六等瑞宝章
元河辺町消防団分団長 伊 賀 賢一 65
- 勲六等瑞宝章
元阿仁町消防団分団長 大 野 敏治 67
- 勲六等瑞宝章
元仙南村消防団分団長 木 村 義之助 66
- 勲六等瑞宝章
元大曲市消防団分団長 小 松 吉一 66
- 勲六等瑞宝章
元男鹿市消防団分団長 下 間 修 吉 67
- 勲六等瑞宝章
元羽後町消防団分団長 菅 原 篤 64
- 勲六等瑞宝章
元八森町消防団分団長 鈴 木 興市 68
- 勲六等瑞宝章
元八電町消防団分団長 島 山 武 65
- 勲七等青綬章
元中仙町消防団分団長 細 谷 勇治 67
- 勲七等青綬章
元自治大臣表彰受賞 昭和町消防団団長 島 山 吉太郎 72

平成四年度全国統一防火標語 “点検を重ねて築く 火災ゼロ”

を思い浮かべてか、涙を浮かべてお互いをたえあっていた。
大会には、県の消防協会副会長はじめ、河辺雄和地区消防署の指導員や雄和町消防団幹部に加え、当日の朝、会場に到着した地元萱ヶ沢の後援会の一行など大応援団が陣取り、秋田県の出場チームが紹介される。一際大きな声援が響き、出場隊員の大きな励みとなった。
午後一時前、閉会式での成績発表の時が来た。タイムがトップな上で上位入賞は間違いのないと思われていたが、「優勝、秋田県萱ヶ沢婦人消防隊」と発表された。その瞬間大きなどよめきから歓喜の声援が湧き上がった。名実ともに日本一になった瞬間である。
出場した隊員は勿論、指導に当たった消防職員、練習を支えた地元消防団員、応援に駆けつけた家族はじめ地域の人々、そして秋田県の消防関係者にとってあの



表彰式を終わって

日本一の栄冠は一生懸命に刻まれたことでした。
昨年九月三日に開催された全県消防操法大会、軽可搬ポンプ操法の部で最優秀賞を受賞し、全国大会への出場権を獲得してから一年余り、地域あげての出場体制づくりに取り組んだ。
本格的な練習に取り組んだのは今年六月頃から、仕事を終って集合するのは午後六時過ぎ、地元の練習会場の設定などを行い世話をする。そして河辺雄和地区消防署の職員も当番制で技術指導に当たった。
更に、萱ヶ沢九戸の全戸加入による後援会組織も結成され、全国大会出場の公開演習を行なう地域上げての支援体制を盛り上げて行った。
八月のお盆過ぎは毎夕の練習日程をこなし、厳しい指導にも耐え、一人も脱落することができた。

勝因は練習量の多さとチームワークの良さ、そして大会本番で上がらなかつたことなどがあげられるが、その陰には、家族の協力をはじめ、指導員、消防団員の強力な指導体制、そして地域をあげての支援体制などがあつた。
更に、第三回大会に出場した雄和町平尾島婦人消防隊の出場経験や昨年出場した角館町下川原婦人消防隊からの大会に向けて様々な情報を頂くなど、多くの方々の支援の基に達成できた快挙であつた。
この快挙は、秋田県では初めてのことであり、県内消防関係者にとって大きな励みとなり、消防操法は勿論、婦人消防隊本来の防火

全国制覇を祝して

秋田県消防協会 会長 柴田 康二郎



雄和町萱ヶ沢婦人消防隊の皆さん、おめでとうございませう。貴女がたは、去る十月二十一日、横浜市においで開催された第八回全国婦人消防操法大会に秋田県代表として出場し、見事全県優勝という輝かしい金字塔を樹立されました。その活躍とご功績に対し、心からお祝い申し上げます。皆さまは、昭和五十九年度に防火思想の普及徹底を図り、地域の安全を徹底を結成され、防火意識の高揚と初期消火の習練に励んで来たのであります。

この偉大な成果は、秋田県に萱ヶ沢婦人消防隊ここにありということに如実に示したばかりでなく、秋田県消防の名声を全国に轟かした。本県消防史上に燦然として輝く快挙でありました。
ここに隊員各位のひたむきな御努力と御功績に対し、心から敬意と祝意を捧げると同時に、今後の御活躍と御多幸をお祈り申し上げます。
最後になりましたが、隊員のご家族および消防関係者の心からなる御支援、御協力に対し、厚く御礼を申し上げます。お祝いの挨拶と致します。

大会を顧みて

雄和町萱ヶ沢婦人消防隊 隊長 佐々木 牧子



「優勝は秋田県雄和町萱ヶ沢婦人消防隊」と大会審査長から発表された瞬間「やったー」と思っただけで、よかったです。これだけだと思いませんでした。隊長でもあり四番員でもあつた私がこまめに来るに決まっています。

隊員は家庭の主婦であり、子供たちのお母さんであり、妻でもあり、とても多忙な中で時間を決めて毎日のように練習をしなければならず、それも仕事が終わった後の夕食時のため、それぞれの家庭に理解がなければ出来なかつたことであり、その調整には苦労しました。一週間の練習な

高義商事株式会社

秋田県横手市寿町2番9号
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トールポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守
- キンバイホース
- キンバラポンプ
- 各種消火器

消防設備はソフト (保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は
猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10-9 電話 63-1551(代)

火災報知設備・消防ポンプ・消火器

株式会社 協立

能代市栄町12の3 〒016
TEL (0185) (52)6361代表

森田 ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種 消火器
簡易自動消防装置ユーホ

ラビットポンプ
消防被服一式
ガス水道工事一般
¥25,000

消防秋田

吉野 盛 吉
松野 5 部
秋田市中通4丁目3-23 会
定 秋田県消防協 協
発行人 秋田県 消防 協
会長 栗田 康二部
電話 0188-32-3791
FAX 0188-34-2706
郵政番号 010
印刷 秋田市山王丁目5-29
株式会社 秋田印刷社
電話 0188-62-8760

平成5年度消防行政重点施策及び消防庁予算概算要求の概要

消防庁

- 平成5年度消防行政重点施策
- 1 住民生活の安全の確保
消防力の充実強化と防災まちづくり事業の推進
(1) 複雑多様化する各種災害に適切に対応し、国民生活の安全性の向上を図るため、消防施設の充実強化及び消防体制の整備を重点的に推進するとともに、消防力の計画的な整備を進めるとともに、消防防災に関する化学技術の研究開発を進める。また、消防防犯の広域化など組織面での消防の対応力の強化方策を検討する。
- (2) 総合性、効率性及び災害現場への即応性に配慮した消防職員の教育訓練としての処遇の改善を推進する。
- (3) 地域の特성에応じた災害に強い安全なまちをつくるため、防災まちづくり事業を積極的に行う。
- 2 大規模災害対策の推進と航空消防体制の整備
(1) 備 地震、噴火、風水害等の大規模災害に備え、地域防災計画の見直し、情報収集伝達、警戒避難体制の強化、地方公共団体の区別を越えた広域応援体制の整備を図るとともに、自主防災体制を充実強化するなど総合的な大規模災害対策を推進する。特に、雲仙岳噴火災害を踏まえた火山防災対策の充実強化を図る。
- (2) 広域のかつ機動的な防災活動等の実施体制を全国的に整備するため、消防防犯ヘリコプターの計画的な整備を積極的に推進するとともに、その効率的な運用を支援する。
- (3) 救急業務の充実強化
(1) 救急業務の行う応急処置等の拡大に対応した救急業務実施体制の充実強化を図るため、救急救命士の養成等救急隊員に対する教育訓練の拡充、高規格救急自動車を始めとする高度救急用資機材の整備等を推進する。
- (2) 傷病者の救命率の向上に資するため、住民に対する応急手当の普及啓発活動を積極的に推進する。
- (3) 通信ネットワークの強化と通報システムの整備
(1) 高度情報化の進展に対応して、衛生通信を活用した消防防災無線施設の整備を積極的に推進し、消防防災無線通信ネットワークの強化を図る。
- (2) 消防緊急通信指令施設の整備を推進するとともに、危険物の保安に関する意識の高揚を図る。
- (3) 石油コンビナート等について防災資機材の高度化など総合的防災対策を更に推進し、特に防災要員に係る教育訓練の充実を図る。
- (4) 大深度地下利用施設についてその特性に応じた消防防災対策の検討を進める。
- (5) 国際協力力の推進と地球環境の保全
(1) 「国際防災の十年」の趣旨に即し、消防技術の協力の拡充など開発途上諸国のニーズを踏まえた国際協力を積極的に推進するとともに、国際消防救助隊の派遣体制の充実を図る。また、消防機器に係る国際規格の策定に積極的に参加し、協力する。
- (2) ハロン消火薬剤の使用抑制、代替消火設備の普及促進、メタンノール給油取扱所の技術基準の整備等地球環境の保全に資する施策を推進する。
- (3) 消防団の活性化と自主防災体制の整備
(1) 地域における消防団の核であり、地域連帯の要である消防団に資するため、消防団活性化並びに地域における交流活動及び後方活動の活性化を図るとともに、青年層、女性層の加入を促進するなど消防団の活性化を推進する。

平成5年度消防庁概算要求額(案)一覽表 (単位:百万円、%)

事項	平成4年度 算 額 A	平成5年度 概算要求額 B	差 引 B-A	対前年 比 B/A	備 考
1 消防防災施設整備に必要な経費	4,347	5,750	1,403	132.3	
(1) 市町村消防施設整備費補助金	2,889	4,205	1,316	145.6	
(ア) 消防 水 槽	2,468	3,224	756	130.6	
(イ) 消防 防 堤	109	121	12	111.0	12隻(10隻増)、新たに救助艇を補助対象化
(ロ) 消防 防 塔	97	76	△21	78.4	
(ハ) 消防用ヘリコプター-付帯施設	70	140	70	200.0	2施設(1施設増)
(ニ) 体力 練 成 施 設	83	124	41	149.4	9施設(3施設増)
(ホ) 救急用ヘリコプター-離着陸場	62	72	10	116.1	
(ヘ) 消防団拠点施設等整備事業	0	448	448	100.0	80団体、新たに体力錬成施設を補助対象化
(ト) 消防団活性化総合整備事業	624	306	△318	49.0	
(7) その他	1,847	2,063	216	111.7	新たに体力錬成器具を補助対象化、消防団拠点施設の整備事業は上記1(イ)に計上
(2) 特殊災害用消防設備整備費補助金	145	97	△48	65.5	化学専、救助資機材、ヘリテレ等
(ア) 石油コンビナート防災資機材	87	35	△50	42.5	
(イ) 林野火災対策資機材	58	58	0	100.0	消防無線、工作機等
(3) 大震災対策設備等整備費補助金	1,301	1,520	219	116.8	
(ア) 大震災対策資機材	148	159	11	107.4	新たに救護用資機材を補助対象化
(イ) 防 災 無 線	1,101	1,309	208	118.9	60団体(12団体増)
(ロ) 火山噴火災害対策事業	52	52	0	100.0	
合 計	15,125	17,128	2,003	113.2	

※平成5年度概算要求額には、生活関連分を含む。

平成4年度全国統一防火標語 “点検を重ねて築く 火災ゼロ”

は、国の厳しい財政事情により、公共事業費等を除き十年連続で前年度比マイナス一〇%と設定されているが、前年度と同様に「公共投資基本計画」等の着実な実施に資する投資の経費については、「公共投資充実臨時特別措置」として、総額二千億円の加算が行われるとともに、生活に密接に関連する投資の経費については、二千五百億円の別枠が設けられている。また、経常的経費については「生活・学術研究臨時特別措置」が創設され、「生活大国づくり」に資するため、生活・学術研究関係の新たなニーズに対応するものとして、五%の範囲内で要求額に加算することとなる。

こうした状況の下で取りまとめられた平成5年度の概算要求総額は、生活関連分を含めて一九、六四一億円で、前年度当初予算額対比で二、一一八、〇〇〇(一一%)の増となつた。このうち、地方公共団体への補助金については、消防防災施設整備費補助金の合計で一七、一八八億〇〇〇万(一〇三、二%)の増となつた。内容は、総合的な消防団の活性化のための事業のうち消防団拠点施設については、その整備推進のため、「消防団拠点施設等整備事業」として予算を拡充することとなる。

また、一九番通報の迅速な処理、出動部隊等に対する的確な指令等を行うための消防緊急通信指令施設の整備を促進するとともに、航空消防防災体制の整備等の整備を図ることとして、

また、生活に密接に関連する投資の経費についても安全な居住環境の形成に必要な耐火性貯水槽等十三億円の別枠要望を行っている。

高義商事株式会社

秋田県横手市寿町2番9号
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	キンパイホース
トールポンプ	シバラポンプ
各種消防機械器具	各種消火器
消防設備保守点検	

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50)4370号
指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)
秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト (保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10-9 電話63-1551(代)

火災報知設備・消防ポンプ・消火器

森田 ポンプ	ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管	消防被服一式
各種消火器	ガス水道工事一般
簡易自動消火装置ユーホ	¥25,000

株式会社 協立

能代市栄町12の3 〒016
TEL (0185) (52)6361代表

世界義勇消防連盟第三回 アメリカ地域総会に参加して

秋田県消防協会

佐藤 貢



加した後、所期の目的を達成し、十月十六日十四時三十分新東京国際空港に全員無事帰国した。

④アメリカ合衆国 ニューヨーク市に二日間滞在し、国連本部、五番街、リンカーンセンター、自由の女神、メトロポリタン美術館等々を視察したが、市内の高層建築の偉容と幾何学的な美しさ、エンプайヤビルからの夜景、美術館の豪華な美術品の数々に魅了された。

②九月二十九日八時五分、遠い遙かな国ブラジル・リオデジャネイロ国際空港に到着、南米の大地を踏む、リオデジャネイロ市は、ブラジル第二の都市、登山電車でコロコートの丘に登る。丘の上には、市内のどこからでも見える巨大なキリスト像が建っており、丘の上からの市内、海岸線、紺色に輝く海が織りなす風景は、まさに華麗雄大な景観である。丘を後にして、年間を通して、世界中の観光客で賑わうコパカパーナ海岸のレストランで昼食をとる。ジュラノの名物料理だ。牛や豚の肉塊を長い剣のような串に刺して焼いた料理で、天下一品の味であった。

③さて、最終はアルゼンチン国ブエノスアイレス市での世界義勇消防連盟第三回アメリカ地域総会及び関連行事への参加である。十月二十一日十四時四十分ブエノスアイレス国際空港に到着、午後二月三日義勇消防署を訪問する。消防署の概況は次のとおりである。

●管轄区域は、義勇消防は各地域ごとに、職業消防は各州の首都の消防力の状況は、職業消防五、六九七人、義勇消防二四七一人、小型消防車一、一五二台、大型消防車三六二台、化学車四四〇台、救助車四〇一台、梯子車六五台、救急車一三五台、輸送車二四〇台、艇一九九台

●年間出動回数は約一〇〇〇件、うち火災関係約七五〇件、その他は洪水、交通事故等である。管轄区域の年間火災件数と出火原因は、区域内は中小工場が多く、年間火災件数七五〇件の約六〇％が工場出火で、一般家庭の石油コンロの不始末、放火、ガス漏れ等が主な出火原因である。

●アルゼンチン消防は、国防省管轄となっており、義勇消防は民間自衛組織の内に位置づけられる。義勇消防と職業消防との関連性は良好で、大災害の発生時は、国家の消防当局の出動要請により災害現場に出動する。

●消防職員等の採用補充採用、義勇消防は十八才以上の男子であって管轄消防署から一、二軒以内に居住する者

となり、巾四軒に亘る大自然の壮大なドラマを演出する。この大瀑布は、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイの三國の国境に跨る世界最大の滝といわれる。イグアスの滝を後にしてサンパウロ国際空港に到着したのは、夕闇せまる一八時四十分、空港には、ブラジル秋田県人会の会長宮田兼雄氏ほか役員の方々が柴田康二郎会長を迎えにいられた。この夜、柴田会長歓迎パーティーに、同行した鈴木音安理事と小生も列席する筈に浴した。久しぶりの日本料理と地酒そして果人会の方々からのサンパウロの情勢、果人会の活躍、柴田会長の東奔西走による果人会館の新築落成までの苦勞話等々、更には、東洋人街の赤い大鳥居が立っている主要街路において、二年前、自動車等あらゆる交通を一時的に断し、秋田市の半円祭を催し、南国の夜空に異国情緒豊かな稲穂の

光彩を灯し、ブラジルに「秋田県人」に在りぬの気概を示したという故園を想う感動のお話を伺い、南国の夜の更けるのも忘れ、しみじみとした一夜は、生涯忘れられない感動に満ちたものであった。

●アルゼンチン消防は、国防省管轄となっており、義勇消防は民間自衛組織の内に位置づけられる。義勇消防と職業消防との関連性は良好で、大災害の発生時は、国家の消防当局の出動要請により災害現場に出動する。

●消防職員等の採用補充採用、義勇消防は十八才以上の男子であって管轄消防署から一、二軒以内に居住する者

●アルゼンチン消防は、国防省管轄となっており、義勇消防は民間自衛組織の内に位置づけられる。義勇消防と職業消防との関連性は良好で、大災害の発生時は、国家の消防当局の出動要請により災害現場に出動する。

●消防職員等の採用補充採用、義勇消防は十八才以上の男子であって管轄消防署から一、二軒以内に居住する者

●アルゼンチン消防は、国防省管轄となっており、義勇消防は民間自衛組織の内に位置づけられる。義勇消防と職業消防との関連性は良好で、大災害の発生時は、国家の消防当局の出動要請により災害現場に出動する。

●消防職員等の採用補充採用、義勇消防は十八才以上の男子であって管轄消防署から一、二軒以内に居住する者

●アルゼンチン消防は、国防省管轄となっており、義勇消防は民間自衛組織の内に位置づけられる。義勇消防と職業消防との関連性は良好で、大災害の発生時は、国家の消防当局の出動要請により災害現場に出動する。

大統領に代りラゴス国防長官の挨拶と続いた後、三四カ国の代表者及び来賓の紹介が行われた。各代表者は国名が呼ばれると、それぞれの席に起立して一礼し、貴賓席及び一般観覧席の列席代表者の歓迎の拍手に応えた。

続いて、功労者十名の表彰が行われた後、アルゼンチン少年消防クラブに対し、徳田議長から設備器具セットと裃天が贈呈された。次に事業報告と今後の指針が提案のとおり承認され、徳田議長が地域総会宣言をして予定どおり十二時に総会を終了した。

そして、十五時からは会場を「七月九日大通り」に移し、アルゼンチン消防のデモンストラシオンである。この大通りは道幅一四四米、片側五車線という広い通りで、一八一六年七月九日の独立記念で命名した大通りである。

観覧席が道路の真中に設けられ、徳田議長外各代表者の居並ぶ前において、先ず交通事故の救助訓練が行われ、救急工作車による事故車の解体作業と負傷者の救助活動が素早い動作で行われ、救急車の急行を

て搬送が、手際よく終了した。愈々アルゼンチンが誇る消防の精鋭三千名に及ぶ各隊が、色とりどりの制服に身を包み、各隊各様に重なる分列行進が各消防車厚とともに、消防音楽隊の吹奏する行進曲によって開始され、大通り側に溢れんばかりの観客から送られる拍手、歓呼の声により延々二時間余に亘るデモンストラシオンが繰り広げられ、一七時三十分世界義勇消防連盟第三回アメリカ地域総会の行事は、有終の美を飾り終了した。

翌十月三日は、世界義勇消防連盟第三回アメリカ地域総会である。会場はアルゼンチンが誇る文化と芸術の殿堂コロン劇場である。パリのオペラ座、ミラノのスカラ座と並び、世界三大劇場に数えられるだけあって、風格のある建物に三四カ国の代表者三、五〇〇名が参加した。

会場の正面舞台には、参加国の国旗が掲げられ、徳田議長はじめ地元アルゼンチンの消防関係者、来賓が着座し、アルゼンチン義勇消防連盟会長フェルナンド氏の歓迎挨拶に始まり、笹川総裁に代って徳田議長が挨拶し、続いてアルゼンチン

救急車一三五台、輸送車二四〇台、艇一九九台

●年間出動回数は約一〇〇〇件、うち火災関係約七五〇件、その他は洪水、交通事故等である。管轄区域の年間火災件数と出火原因は、区域内は中小工場が多く、年間火災件数七五〇件の約六〇％が工場出火で、一般家庭の石油コンロの不始末、放火、ガス漏れ等が主な出火原因である。



大統領に代りラゴス国防長官の挨拶と続いた後、三四カ国の代表者及び来賓の紹介が行われた。各代表者は国名が呼ばれると、それぞれの席に起立して一礼し、貴賓席及び一般観覧席の列席代表者の歓迎の拍手に応えた。

総合防災設備設計、施工

総代理店
消防設備士
秋田県 消防機器A級店
入札資格

株式会社 高義商会

〒012-01 本社 秋田県雄川町 (0183) (42)2125-2126
〒012 森沢市田町 (0183) (73)2588-2832
〒019-05 十文字町本町 (0182) (42)0032
高義グループ店 秋田市、大館市、天王町、鷹角市

防災施設器具修理
消火器具
消火機

消防 半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺田染工場

横手市清川町 ☎32-0416

10月の火災発生件数 (全県)

月	建物	その他	死者	災害
10月	26	9	6	22
計A (10月)	218	97	22	186
計B (10月)	250	143	14	228
対比 (10月)	△32	△46	8	△42

ゆたかな未来を築くために

消防団員のための
消防互助年金
に加入を!

(20歳加入、60歳年金開始の場合)

120万円
約1,368万円
約3,207万円

20年間掛金累計 (月額5,000円)
10年間受取額累計
20年間受取額累計

財団法人 日本消防協会



消防秋田



消防秋田

初代会長 盛吉
副会長 松野 5
定部 5
秋田市通 4丁目3番23
発行人 秋田県消防協会
編集 秋田県消防協会
電話 0188-32-3791
FAX 0188-34-2706
郵便番号 010
秋田市山王町15-29
印刷 株式会社 松原印刷社
電話 0188-62-8760

年頭の辞

消防庁長官 浅野 大三郎



平成五年の新春を迎え、全国の消防関係者の皆様にご挨拶申し上げます。昨年一年は、御挨拶を申し上げるとともに、心から敬意を表し、感謝申し上げます。本年の自治体消防発足四十五周年に当たりま

すが、我が国の消防は、これまで関係者の方々のたゆまぬ御努力の積み重ねにより、組織・人員・施設・装備等の各段にわたって、着実な発展を遂げてまいりました。今日では、火災に対する予防、警防はもとより、救急、救助、さらには地震、風水害等の防災対策に、極めて広範囲な活動を行い、住民から深い信頼をお寄せいただいております。国際協力の分野でも大きな進展を見るに至っております。しかしながら、都市化の

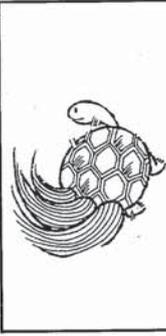
新年を迎えて

秋田県知事 佐々木 喜久治



新年を迎え、謹んで皆様のご多幸をお祈り申し上げます。昨年の県内産業の動向を振り返りますと、確立が五年ぶりに平年作を確保したほか、あきたこまちが特定銘柄生産加算対象になるという明るい話題もあり

ましたが、引き続き停滞する国内経済の影響を受け、本県の製造業の大半が受注の減少により生産抑制が続くなど、総体的には厳しい状況にありましてはあります。一方、昨年は二十一世紀における望ましい秋田を築くための指針であり、また二から二年のようでもありましたが、このような厳しい経済情勢の中にあっても計画に感られた施策・事業を確実に実施し、新計



新春のご挨拶

財団法人日本消防協会 会長 笹川 良一



が、安全の確保は生活の基礎的条件であり、消防に寄せられる住民の期待はますます増大しております。自治体消防発足四十五周年を機に、関係者が一致団結して、消防人としての誇りと自覚も持って、住民の期待に応えていかなければならないと考えます。本年も消防力の一層の充実強化に努めることはもとより、救急救命士の養成等救急隊員の教育訓練の充実、高規格救急自動車等の整備の推進等、救急業務の高度化に力を注ぐほか、地震、風水害、火山噴火等の大規模災害対策の推進、航空消防防災体制の整備、防火安全対策の推進などを図るとともに、消防団の活性化を進め、地域

が、安全の確保は生活の基礎的条件であり、消防に寄せられる住民の期待はますます増大しております。自治体消防発足四十五周年を機に、関係者が一致団結して、消防人としての誇りと自覚も持って、住民の期待に応えていかなければならないと考えます。本年も消防力の一層の充実強化に努めることはもとより、救急救命士の養成等救急隊員の教育訓練の充実、高規格救急自動車等の整備の推進等、救急業務の高度化に力を注ぐほか、地震、風水害、火山噴火等の大規模災害対策の推進、航空消防防災体制の整備、防火安全対策の推進などを図るとともに、消防団の活性化を進め、地域

11月の火災発生件数(全県)

月	建物	その他	死者	災害
11月	23	3	4	17
累計(前月対比)	241	100	26	203
累計(前年対比)	286	148	18	265
増減	△45	△48	8	△62

秋田県知事	佐々木 喜久治	秋田県副知事	池田 龍	秋田県生活環境部長	斎藤 悦	秋田県消防協会会長	笹川 良一	秋田県消防協会副会長	伊藤 功	秋田県消防協会事務局長	吉田 久	秋田県消防協会副事務局長	石井 善	秋田県消防協会事務副局長	角田 喜
秋田県消防協会 課長	伊藤 功	秋田県消防協会 副課長	石井 善	秋田県消防協会 課長補佐	角田 喜	秋田県消防協会 副課長補佐	伊藤 功	秋田県消防協会 課長	伊藤 功	秋田県消防協会 副課長	石井 善	秋田県消防協会 課長補佐	角田 喜	秋田県消防協会 副課長補佐	伊藤 功
秋田県消防協会 課長	伊藤 功	秋田県消防協会 副課長	石井 善	秋田県消防協会 課長補佐	角田 喜	秋田県消防協会 副課長補佐	伊藤 功	秋田県消防協会 課長	伊藤 功	秋田県消防協会 副課長	石井 善	秋田県消防協会 課長補佐	角田 喜	秋田県消防協会 副課長補佐	伊藤 功

年頭にあたり

秋田県消防協会
会長 柴田 康二郎



輝かしい平成五年の新春を迎え、全県消防関係の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃消防防犯の第一線にあって、火災をはじめ各種の災害から地域住民を守るために、日夜活動されていることに、心から感謝を申し上げます。

また、これを契機として、全県消防関係の向上に邁進されるようご期待するものであります。

このように、昨年十月に横浜市で開催された第八回全国消防団法大会において、本県代表として出場した河辺郡雄和町の萱ヶ沢消防団の皆さんが全国優勝を挙げ、日頃鍛えた技能を余すことなく発揮され、堂々と全国優勝を輝かせられました。

このように、昨年十月に横浜市で開催された第八回全国消防団法大会において、本県代表として出場した河辺郡雄和町の萱ヶ沢消防団の皆さんが全国優勝を挙げ、日頃鍛えた技能を余すことなく発揮され、堂々と全国優勝を輝かせられました。

このように、昨年十月に横浜市で開催された第八回全国消防団法大会において、本県代表として出場した河辺郡雄和町の萱ヶ沢消防団の皆さんが全国優勝を挙げ、日頃鍛えた技能を余すことなく発揮され、堂々と全国優勝を輝かせられました。

このように、昨年十月に横浜市で開催された第八回全国消防団法大会において、本県代表として出場した河辺郡雄和町の萱ヶ沢消防団の皆さんが全国優勝を挙げ、日頃鍛えた技能を余すことなく発揮され、堂々と全国優勝を輝かせられました。

年頭のあいさつ

秋田県市長会会長
秋田市市長 石川 錬治郎



年頭にあたり、全県消防関係の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、県民生活を脅かす火災をはじめとする各種の災害からその安全を守るため、日夜職務に精励し、活躍されていることに、心から感謝を申し上げます。

年頭にあたって

秋田県町村会長
畠山 義郎



新年を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

本年は、農業に關しましては、昨年来、米の輸入自由化に対する圧力が一段と強くなり、稲作を中心とする本県は、今後の交渉の成否に關心をもつて、臨み、町村の移住による、六十町村の縮減ももつてこれらに対応して参ることにしております。

また、高速交通体系の整備など、本県の産業・経済・文化などあらゆる分野の振興発展の基盤となるものと認識し、昭和六十三年以降に、本年においても高規格道路網の整備促進、高規格道路の早期実現など、県民の健康と生活の向上に資するよう、本年も、本会に対して変わらぬご指導、ご協力をお願いいたします。

このように、昨年十月に横浜市で開催された第八回全国消防団法大会において、本県代表として出場した河辺郡雄和町の萱ヶ沢消防団の皆さんが全国優勝を挙げ、日頃鍛えた技能を余すことなく発揮され、堂々と全国優勝を輝かせられました。

このように、昨年十月に横浜市で開催された第八回全国消防団法大会において、本県代表として出場した河辺郡雄和町の萱ヶ沢消防団の皆さんが全国優勝を挙げ、日頃鍛えた技能を余すことなく発揮され、堂々と全国優勝を輝かせられました。

このように、昨年十月に横浜市で開催された第八回全国消防団法大会において、本県代表として出場した河辺郡雄和町の萱ヶ沢消防団の皆さんが全国優勝を挙げ、日頃鍛えた技能を余すことなく発揮され、堂々と全国優勝を輝かせられました。

新年に寄せて

秋田県生活環境部長
古屋 龍悦



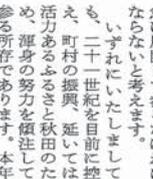
新年おめでとございませう。今年も、ご指導、ご協力をお願いいたします。

本年は、農業に關しましては、昨年来、米の輸入自由化に対する圧力が一段と強くなり、稲作を中心とする本県は、今後の交渉の成否に關心をもつて、臨み、町村の移住による、六十町村の縮減ももつてこれらに対応して参ることにしております。

このように、昨年十月に横浜市で開催された第八回全国消防団法大会において、本県代表として出場した河辺郡雄和町の萱ヶ沢消防団の皆さんが全国優勝を挙げ、日頃鍛えた技能を余すことなく発揮され、堂々と全国優勝を輝かせられました。

年頭にあたって

秋田県町村会長
畠山 義郎



新年を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

本年は、農業に關しましては、昨年来、米の輸入自由化に対する圧力が一段と強くなり、稲作を中心とする本県は、今後の交渉の成否に關心をもつて、臨み、町村の移住による、六十町村の縮減ももつてこれらに対応して参ることにしております。

また、高速交通体系の整備など、本県の産業・経済・文化などあらゆる分野の振興発展の基盤となるものと認識し、昭和六十三年以降に、本年においても高規格道路網の整備促進、高規格道路の早期実現など、県民の健康と生活の向上に資するよう、本年も、本会に対して変わらぬご指導、ご協力をお願いいたします。

このように、昨年十月に横浜市で開催された第八回全国消防団法大会において、本県代表として出場した河辺郡雄和町の萱ヶ沢消防団の皆さんが全国優勝を挙げ、日頃鍛えた技能を余すことなく発揮され、堂々と全国優勝を輝かせられました。

このように、昨年十月に横浜市で開催された第八回全国消防団法大会において、本県代表として出場した河辺郡雄和町の萱ヶ沢消防団の皆さんが全国優勝を挙げ、日頃鍛えた技能を余すことなく発揮され、堂々と全国優勝を輝かせられました。

このように、昨年十月に横浜市で開催された第八回全国消防団法大会において、本県代表として出場した河辺郡雄和町の萱ヶ沢消防団の皆さんが全国優勝を挙げ、日頃鍛えた技能を余すことなく発揮され、堂々と全国優勝を輝かせられました。

高義商事株式会社

秋田県横手市寿町2番9号
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トンネルポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパル
- 各種消火器

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50) 4370号
指名競争入札参加資格 秋田県A級(第秋8号)
秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト
(保守点検)が決めて!



消防設備の点検設置のご相談は

猿田興業株式会社

秋田県山王町六丁目10-9 電話 63-1551(代)

火災報知設備、消防ポンプ、消火器

森田ポンプ	ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管	消防被服一式
各種消火器	ガス水道工事一般
簡易自動消火装置ユーホ	¥25,000

株式会社 協立

能代市栄町12の3 電話 016
TEL (0185) (52)6361代表

新しい年を迎えて

消防大学校長
小滝敏之



平成五年の輝かしい新春を迎え、全国消防関係者の皆様に謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

昨年は、東西体制崩壊後初のオリンピックや万博の開催、合衆国大統領選挙やコロンビアのアメリカ大陸発見五百周年、スペースシャトルの打ち上げ等、明るい話題で賑わった反面、国内では高速道路多車線衝突事故や花火工場の爆発、遊漁船衝突転覆や石油コンビナート工場爆発火災等の災害、国外ではフロリダのハリケーン来襲、中国メダマ

島の台風大被害、ニカラグアの津波やカイコの大地震、ネパールのエアバス墜落やオランダの貨物機高層墜落、墜落、ドイツの夜行急行列車衝突やウィーンザー城の炎上等の各種災害、更にはロサンゼルス暴動やニューヨークの内戦等々、暗いニュースも相次ぎました。

二十一世紀まで残すところ後八年、一九九三年が世界の年々として、災害や飢饉、内戦や紛争等のない平穏な年となりますよう、そして命の消防関係者の皆様をはじめ地域住民の方々にとって、明るい佳き年となりますよう心から願っております。

新年明けましておめでとごさいませ。諸機関との連携を密にし、県の皆様と一体となって努力する所存でございます。

新年のご挨拶

陸上自衛隊秋田駐屯地司令
一等陸佐 吉田邦雄



平成五年を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。日頃から皆様のご協力をいただき、平素から自衛隊に対する御理解とご協力をいただいております。

ことに対し心よりお礼申し上げます。さて、県内におきましては、近年自衛隊が組織力と機械力をもって出動する大災害が発生してないことは、喜ばしいことであり、県民の御理解とご協力をいただき、平素から自衛隊に対する御理解とご協力をいただいております。

ええ、愛いなし、一等の自衛隊におきましては、わが国を平和と独立を守り、国家繁栄の礎を築いたため、日夜厳しい訓練を実施すると共に、秋田の郷土部隊として、万一災害が発生した場合には、県民の御理解とご協力をいただき、平素から自衛隊に対する御理解とご協力をいただいております。

新年明けましておめでとごさいませ。諸機関との連携を密にし、県の皆様と一体となって努力する所存でございます。

年頭のごあいさつ

秋田県警察本部長
山田稔



新年明けましておめでとごさいませ。

年頭のご挨拶

秋田県消防協会
副会長 関富治



新年明けましておめでとごさいませ。

年頭のご挨拶

秋田県指定水防管理団体連合協議会会長
大館市長 小畑元



平成五年の新春を迎え、全県消防関係者の皆様と謹んで新年のお慶びを申し上げます。

幸いにして昨年は、特段の大きな災害もなく平穏な一年でありました。これは、皆様の常日頃の

行、覚醒刑事の蔓延などにより、警察にとりましては多忙な一年でありました。今年も、国内における政治・経済等社会情勢の推移に伴って警察事務の発生が憂慮される状況にありま

す。しかし、このよき時期こそ県民の警察に対する期待も大きくなるものと思われ、今後とも全職員が一心となって心を新たに、県民生活の安全と平穏

における急激な社会経済情勢の変化に伴い、各種災害は複雑多様化し、大規模化する傾向にあります。これに十分対処するため

の消防防災体制の確立が急務となっており、この状況の中で、地域社会における防災体制の整備を考えたとき、消防団に期待される役割は、ますます大きなものとなって来て

ています。しかしながら、全国的にも消防団員は減少の一途を辿り、高齢化・サラリーマ

を火災をはじめとする各種の災害からまもるため、日夜厳格的に御活躍されていることに対し、心から感謝と敬意を表するものであります。

二十一世紀の到来を目前に、消防団員の第一線に立ち、人間にとって一番大切な生命、身体、財産の保全

を願い、専心努力を傾けこれに尽えていく所存であります。さて、県民の願いであり

ます「無火災」は、懸命の防火運動にもかかわらず近年の産業経済の発展と生活様式の急速な変化に伴い、

の発展、高層ビルなどの急増により、消防行政の態勢も危険化、複雑化の一途をたどっており、それにより各地に発生する大小の火災が民生の安全を脅かし、尊

厳に、県民の生命、財産を各種災害から守るため日夜努力されている消防関係の御活躍をお祈りいたしまして年頭のごあいさつといたします。

たゆまぬご協力の賜と心から御礼申し上げます。本会をいたしまして、美しい豊かな県土を災害から守り、安心して生活ができるよう、地域の防災に対する住の積極的な取り組みと、地域全体の総合防災体制の確立を築き上げていかなければならぬものと、年頭にあたり決意を新たにしている次第であります。

て東北地方建設局、県、全県水防管理団体連合会並びに米代川水防連合会主催による米代川水防演習が実施されました。

これは土気の高揚と水防技術の向上及び水防体制の強化を図ることを目的としたもので、今後の水防活動に大きな成果が得られたものと確信いたしております。

一昨年の島原普賢岳の噴火による火砕流の流出にみ

い人命と巨額の財産の物心両面に多大の損失をもたらしておりますことは誠に憂慮にたえないところであります。さて、多くの人が不注意によるものであり、火災の予防につきましては一人ひとりが防火に対する認識を深め、気をつけることが大切であると思っております。

そのためには、今後とも防火思想の普及、啓発につきまして最善の努力をし、県民に向けて、どうしたら市民に愛され、親しまれる消防団になり得るか、地域の防災の中核として、日常活動を通じて消防団と地域住民とのつながりを深めるとともに、新しい消防活動の関心を高め、更に消防関係者の地位の向上を図るといいう活性化への道を歩まなければならない、と思っております。

ご支援いただき、新年の御挨拶を申し上げます。

活が出来る災害に強い「まちづくり」を図っていただきますよう願するものであります。

最後に、秋田県消防の限られた進展と全県消防関係者の皆様、ご健勝を心から、ご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

ゆたかな未来を築くために

現金は安全・確実・有利に運用
現金は毎年増え続ける終身年金

消防員のための
消防互助年金
に加入を!

120万円
1,368万円
3,207万円

秋田県消防協会

新年のごあいさつ

秋田県消防学校長 井上和吉



平成五年の新春を迎え、県内消防関係者の皆様から新年のお慶びを申し上げます。本校の運営並びに教育訓練の充実にあたりましては、平素格別のご支援をいただき、年々充実されてまいりましたことを心から感謝申し上げます。本年は我が国の消防が自治体消防として発足してから四十五周年にあたり誠に意義深い年でありまして、この

年頭にあたって

秋田県消防長会 会長 中山富治



平成五年の新春を迎え、全県消防関係者の皆様から新年のご祝詞を申し上げます。皆様におかれましては、地域住民の安全確保のため日夜献身的な防災活動に励んでおられますことに対し、甚なる敬意を表する所でございます。昨年七月十六日日本

新春にあたって

秋田県消防協会 副会長 阿部慶一



平成五年の新春を全県消防関係の皆様と共に迎えることが出来ました。これまで戦中戦後と半世紀に亘り消防防災に掛って来た生涯を振り返りながら本県消防の発展を期すべく、本年は初任教育及び救急士科を重点として推進するとともに

年頭にあたって

秋田県消防協会 副会長 加賀屋三郎



平成五年の輝かしい新春を迎え、全県消防関係者の皆様から新年のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては、地域住民の安全確保のため日夜献身的な防災活動に励んでおられますことに対し、甚なる敬意を表する所でございます。昨年七月十六日日本

自治体消防四十五周年記念事業について

日本消防協会

本年は、自治体消防が発足して四十五周年を迎える記念すべき年である。日本消防協会では、自治体消防四十五周年記念事業として、記念大会および消防未来博と今年十一月に開催すべく準備を進めている。この記念事業の内容については、これから各界各層の意見を集約しながら、検討をするものであるが、現在の計画概要は次のとおりである。一、事業の趣旨 自治体消防四十五周年記念、自治体消防四十五周年記念事業の一環として国民の生命、身

活動の業務は年を追って増大して来て居ります。こうした現況を踏まえ広域消防体制とのネットワークの中で非常備消防機関は地域住民と密着した巾広い予防活動を基に伝統ある消防団としての誇りある消防人として、たゆまぬ努力を傾けたいと存じます。消防関係の皆様より一層の御活躍と御健勝を祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

新装備による消防演習

- ③各地方都土芸能及び伝統行事の披露
- ④各種団体の演習
- ⑤世界義勇消防連盟の演習
- ⑥その他
- ・フィナーレ
- ・消防未来博
- ・東京会場
- ・日時一九九三年一月一日(火)
- ・一月八日(水)
- ・会場 東京ドーム
- ・日時一九九三年一月二八日(日)
- ・大阪会場
- ・日時一九九三年一月二八日(日)

消防の最新技術や情報が国民生活を守るシステムを展示する。未来における消防、防災の姿を展望する。消防技術における国際協力の推進と世界の消防事情を紹介する。

一二月三〇日(火) 会場 マイドームおさか
展示内容
消防の歴史及び災害活動の記録を紹介する

株式会社 高義商会
〒012-01 本社 秋田県横川町 電話 (0183) (42)2125-2126
〒012 湯沢市田町 電話 (0183) (73)2588-2932
〒019-05 十文字町本町 電話 (0182) (42)0032
高義グループ店 秋田市、大館市、天王町、鷹岡市

消防 半天・帯・団旗 優勝旗・ゼッケン 手拭・タオルのれん 旗幕類名入染物専門

寺田染工場
横手市清川町 電話 32-0416

消防秋田

初代会長 松野 盛吉
 定 価 1部 5円
 秋田市中通4丁目3-23 消防協 会
 発行人 秋田県 消防協 会
 会 長 栗 田 康二部
 電話 0188-32-3791
 0188-34-2706
 FAX 0188-34-2706
 郵便番号 010
 秋田市山王町目黒-29
 株式会社 松原印刷社
 電話 0188-62-8760

平成五年

新春の消防出初式

新春恒例の消防出初式は、一月四日から七日までの四日間、県内の各市町村において、消防職員、消防団員および消防関係者が参加して行われた。

六日は、秋田市はじめ、多くの市町村において参加した消防職員および消防関係者が、寒風をもとめせず、各市町村長の観閲をうけた後、分列行進や各種の演技を披露し、今年の防災の誓いを新たにした。

秋田市では、「さらめく北の人間都市秋田」の安全をめざして秋田市消防本部前の「けやき通り」で行われた。

午前十時、観閲者、来賓等が定位置に着いた後、開

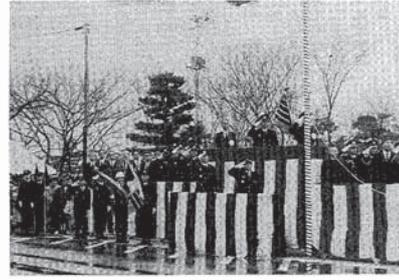
会を宣し、国旗掲揚後に国旗を掲げた後、けやき通りに整列している制服、制帽姿の消防職員および消防団員、消防関係者一行が、消防本部の観閲を行なった。

そして、沿道で多数の市民が見守るなか、陸上自衛隊秋田駐屯地音楽隊(菅井弘隊長以下十七名)の演奏する行進曲ののって、十余名の消防団員等の徒歩部隊、及び車両部隊が指揮者の号令に従って整然とした分列行進を開始した。先頭は、菅原副団長以下十三名の団本部、続いて昨年の分団対抗の演技競技会において、ポンプ車演技の部で優勝した牛島分団、次に小型ポンプ演技の部で優勝した仁井田分団と続き、二十六

分団の最後は豊谷分団でしめくつた。次いで高梨台自衛消防隊の花田隊長以下十三名の行進をもつて、一千余名による精気溢れる分列行進が終了した。

なお、引き続き、近代的装備を誇る各種消防車の車両部隊が、各消防署等の指揮により、指揮車を先頭に、大型化学車、泡原液搬送車、照明電源車、梯子車、救急工作車等の大型車両や、ポンプ付積載車、救急車等四十数台が、けやき通りを気引き締めで行進した。

次に、観閲台の前において、本年初めての演技として、消防団の装備の移り変わりの一部を消防団員によっ



国旗掲揚



徒歩部隊の堂々たる分列行進



重厚な消防車両の行進



梯子車による演技

て演じられた。

まず、今では聞くことのない半鐘が打ち鳴らされ、消防団の消防団員によるまじふり、竜吐水と呼ばれる消防ポンプや腕用ポンプの演習展示、刺子と呼ばれる消防装束をまとった消防団の服装及び、装備の変遷の一端を公開した。

続いて、救命素射銃の空砲発射を合図に、消防車両の演技が開始され、けやき通りにおいては、夜間の災害に活躍する照明電源車の演技、火災、交通事故及び、作業事故等の災害現場で救助活動を行う救助工作車の演技、高層建築物における救助活動や火災抑制に活躍する梯子車の演技、更

の消防団の服装及び、装備の変遷の一端を公開した。

続いて、救命素射銃の空砲発射を合図に、消防車両の演技が開始され、けやき通りにおいては、夜間の災害に活躍する照明電源車の演技、火災、交通事故及び、作業事故等の災害現場で救助活動を行う救助工作車の演技、高層建築物における救助活動や火災抑制に活躍する梯子車の演技、更

には石油コンビナート火災時に活躍する高所放水車の演技が、一斉に開始された。

一方、中央公民館前の市民グラウンドでは、化学車による、赤、青、黄、緑色の鮮やかな放水演技が開始され、消防出初式ならではの光景が演出される。および、見物する市民から大きな歓声が上がっていた。

この後、屋内行事である、優良消防団員等の表彰式が秋田市役所内において行われ、約四百名の方々、知事表彰、市長表彰、消防協会長表彰、消防長表彰及び、団長表彰に輝いた。

平成四年度全国統一防火標語
 “点検を重ねて築く
 火災ゼロ”

明治から平成までの消防の変遷



消防装束を身にまとい



昔の消防ポンプ“竜吐水”



勇壮なまといふり

高義商事株式会社

秋田県横手市寿町2番9号
 TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- ターボポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバラポンプ
- 各種消火器

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50)4370号
 指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)
 秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト
 (保守点検)が決めて!



消防設備の点検設置のご相談は
猿田興業株式会社
 秋田市山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)
 火災報知設備・消防ポンプ・消火器

- 森田ポンプ
- 桜ホース・ソフト吸管
- 各種消火器
- 簡易自動消火装置ユーホ
- ラビットポンプ
- 消防被服一式
- ガス水道工事一般
- ¥25,000

株式会社 協立

能代市栄町12の3 〒016
 TEL (0185) (52)6361代表

消防功労者表彰

秋田県・秋田県消防協会

- 秋田県及び秋田県消防協会では、永年にならぬ消防の職務に精励し、消防の使命達成に尽力された市町村の消防職員および関係者の方々の功勞を顕彰するため、毎年、一月一日の佳き日に表彰しているが、平成四年の表彰次第の方であり、各市町村消防出初式において伝達された。
- 秋田県知事表彰
秋田県消防協会
分団長 北島 久夫
外二四三名
- 永年勤続功勞章
能代市消防団
分団長 小笠原 吉義
外四以上
- 消防協力者
○三十五年以上
副分団長 湊合 清三
副分団長 外八九名
- 三十年以上
大館市消防団
副分団長 宮田 春美
外一〇七名
- 二十五年以上
本荘市消防団
副分団長 富樫 文男
外三二名
- 二十年以上
大曲市消防団
副分団長 堀川基一郎
外七四五名
- 消防協力者
○火災予防運動協力者
五城目町火災予防組合
組合長 鳥井 市朗
外二名
- 火災予防運動協力団体
雄和町警自防消防組合
○優良少年消防クラブ
鹿角市古川子供会
- 秋田県消防協会長表彰
○功勞章
副分団長 佐藤 務
副分団長 外二七四名
- 勳章章
秋田市消防団
副分団長 森川 祐治
外八九名
- 精進章
太田町消防団
副分団長 田口 雅和
外一〇三名
- 頭功章
羽後町消防団
元団長 篠木 弘太
外一〇九名

平成五年度 消防学校教育訓練計画決定

近年の社会環境の変化は著しいものがあり、火災をはじめとする各種災害は、複雑多様化かつ大規模、広域化の傾向があるとともに、新たな災害の発生要因が増大しており、地域住民の消防に寄せる期待は、益々高まってきている。このような社会的要請と住民ニーズに的確に対応できる消防職員および消防団員の養成を図るため、秋田県消防学校では別表のとおり平成五年度の教育訓練計画を策定し、実施することになり、各市町村に通知した。消防団員に関する教育訓練課程は、普通、幹部、指導員、一日入校等となっており、各市町村消防団には積極的に受講されるようお奨めする。

教科(課) 課程	実施回数	教育実施期間		教育時間数	
		日数	時		
初任教育	1	187	4.5~10.8	903	
消防科教育	無線通信課程	1	5	6.7~6.11	33
	警防課程	1	12	7.12~7.23	70
	危険物課程	1	4	4.20~4.23	26
	火災調査課程	1	12	1.10~1.21	70
	救急標準課程	1	53	1.24~3.17	266
	救急Ⅱ課程	2	25	10.25~11.18	126
	救急Ⅲ課程	24	11.24~12.17	126	
	救助科	1	31	10.13~11.12	154
	消防訓練指導員課程	1	2	5.20~5.21	10
	婦人操法指導員課程	1	1	6.23	6
特別教育	はしご車運用課程	1	4	5.11~5.14	26
	普通教育	1	3	12.8~12.10	19
	幹部教育	2	3	1.18~1.20	19
	指導員教育	1	3	11.29~12.1	19
消防団員	一日入校教育	20	20	100	
	移動消防教育				
	その他入校教育				
計	37	392		1,993	

平成四年版 消防白書の概要 (一)

自治省消防庁総務課

消防白書は、消防行政の現状を踏まえて今後の消防防災体制の方向と当面の諸問題に言及するとともに、平成三年中の資料を中心に火災、その他の災害の実態と消防行政の現況等について解説したものである。

消防庁では、昨年十一月六日に「平成四年版消防白書」を閣議報告を経て公表した。以下、白書の概要を紹介する。

一 住民の安全確保をめざして

消防行政の現状
我が国の消防は、各種の災害から国民の生命、身体及び財産を守るため、消火活動を中心とした警防活動を中心と、予防、救急、救助、防災など広範な活動を行なっているが、組織、人員、施設等全般にわたって着実に整備が進み、国際的にも高い水準に到達している。

また、消防力についてみると、現在、常備化市町村数は三〇四五を数え、全人口の九九・三パーセントが常備消防力によってカバーされている。また、常備消防力については消防ポンプ自動車等に加え、はしご付き消防ポンプ自動車、高規格救急自動車等高度な設備の整備力の強化を中心とした設備の整備が、それぞれ進められている。

予防行政については、防火基準適合表示制度の充実、消防用設備等の維持管理の徹底、防火・避難施設等の自主管理体制の確立、予防査察の強化など、総合的な防火安全対策が図られている。また、平成三年からは、住宅火災による死者数の低減を図るため、住宅防火のための諸方策の総合的な推進に努めている。

救急業務については、平成三年八月に、救急隊員の行う応急処置等の範囲を拡大した。このうち、比較的に軽易なものについては、都道府県等の消防学校で、高度な応急処置については、(財)救急振興財団をはじめとする救急救命士養成機関で、それぞれ必要な教育が進められている。平成四年五月には、初の救急救命士が誕生し、同年七月以降、救急救命士の資格を活かした新たな救急業務が逐次開始され、傷病者の救命に効果をあげている。

救助活動については、人命救助を必要とする様々な災害が多発し、救助活動件数も増加傾向にあるため、特別の救助資機材を備え、専門的な教育訓練を受けた隊員により構成された救助隊の整備が積極的に進められている。

防災対策については、都道府県・市町村の地方防災会議において、地域防災計画を策定し、これに基づき防災体制の整備が図られる一方、日ごろから消防機関など防災関係機関と住民が連携して総合かつ実践的な防災訓練が行われている。このほか、国際防災の「一〇年」の趣旨に即し、我が国の消防の技術、経験を活かした国際発達国に対する技術援助、国際消防救助隊の派遣、ISOにおける国際規格の策定作業への参画等各般にわたる国際協力を推進している。

二 今後の消防行政の方向

① 国民生活の基盤となる安全の確保を図っていくことは、豊かの実感できる国民生活を實現する上で必要不可欠であり、消防行政の果たすべき役割は極めて重要である。このため、今後とも技術革新の成果を積極的に取り入れながら、諸情勢の変化に対応して、消防防災体制の一層の充実強化を図り、消防行政に対する期待に応えていく必要がある。

② 消防力の充実強化
 (1) 復雑、多様化する各種災害に的確に対応し、いかにしては、消防防災に関する組織、人員、施設、装備等の充実強化を着実に進め、いかなければならぬ。

③ 全国いずれの地域においても、より高度化する消防需要に十分対応できるようにするため、消防体制の広域化を含め組織、防災資機材、備蓄施設等の消防防災力の強化方を検討していく。

④ 災害の複雑・多様化等に対応しつつ消防活動を的確に遂行するため、災害現場での活動に即応した総合的な教育訓練体制の整備を推進して、建築物の高層化等の進展、危険物施設の増加、危険物施設の多様化等に対応して、はしご付き消防自動車、化学消防自動車、ヘリコプター等の整備を促進していく。

⑤ 高度な通信技術を活用した消防緊急通信指令施設の整備を早急に進めるとともに、消防・救急無線波の拡充や通信内容の高度化を図るなど、消防機関の通信体制を強化する。

⑥ 大規模災害対策の推進
 ① 総合的な災害対策の基本的な地域防災計画を社会環境の変化等に対応して常に見直し、地域の実情に即した具体的なものにしていく。

② 消防防災無線通信ネットワークは、都道府県消防行政無縁については、地域衛星通信ネットワークを活用した整備を推進し、更に安全性、信頼性を高めるとともに、市町村消防行政無縁については、未整備地域における整備を積極的に推進する。

③ 災害に強い安全なまちをつくるため、防災まちづくり事業の積極的な活用等により、防火水槽、防災資機材、備蓄施設等の消防防災力の強化方を検討していく。また、避難路等の防災基盤の整備を一層推進する。

④ 火山噴火災害対策については、雲仙岳噴火災害の貴重な経験を活かして、各地域防災計画について、各般の対策について、一層の推進を図っていく。

顕彰記念額 炎と纏

消防関係各位様のご活躍された偉大な功績を末代まで語り継ぐ
顕彰記念額 (100×47cm)



退官退団記念額 (300×23cm)

【記念額の内容】
 ●金属板に彫刻した団歴
 ●写真・勲章・記章
 ●バッジ・表彰状等を元にレイアウト構成致します
 ●制作に際しては徹底した打合せと確認によりご満足な「記念額」をお約束致します

株式会社 仙台営業所
 仙台市若林区新寺1丁目7番20号大同ビル
 TEL (022)256-0575
 フリーダイヤル (0120)256-057 担当 市川行雄

12月の火災発生件数(全県)

月	建物	その他	死者	火災
12月	29	2	0	27
累計(1月~12月)	270	102	26	230
前(1月~12月)比	313	151	22	291
前(1月~12月)対前A-B	△43	△49	△4	△61

寺田染工場

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

横手市清川町 ☎32-0416

総務防災設備設計、施工

総代理店
消防設備士
秋田県 消防機器A級店
入札資格

株式会社 高義商会

〒012-01 本社 秋田県雄川町 ☎(0183)(42)2125-2126
 〒012 湯沢市町 ☎(0183)(73)2588-2592
 〒019-05 十文字町本町 ☎(0182)(42)0032
 高義グループ店 秋田市、大館市、天王町、鹿角市

消防秋田

初代会長 松野 盛吉
 5部 4丁目3-23 会
 秋田市中通 消防協
 定 秋田県 清田 康二
 長 会長 柴田 康二
 電話 0188-32-3791
 FAX 0188-34-2706
 郵便番号 010
 秋田市山王町1丁目5-29
 株式会社 秋田印刷社
 電話 0188-62-8760

平成四年度

防火ポスター 入選作品決まる

少年少女の防火意識を高めるため、秋田県と秋田県消防協会では、毎年全県の小学校、中学校の児童、生徒から防火ポスターを募集してきました。

この応募品について審査した結果、小学校では、

は、小学校の部では、二十六校五百二十三点、中学校の部では、八校三十五点、合計して五百五十八点となりました。

また、佳作として小学校の部六名、中学校の部六名、



〈2席〉仙北町立北小学校
6年 加藤 健悦



〈2席〉大曲市立内小友小学校
4年 佐藤 康弘



〈1席〉能代市立鶴形小学校
2年 高橋 啓一



〈3席〉能代市立鶴形小学校
1年 小林 淳子



〈3席〉鹿角市立大湯小学校
2年 湯瀬 邦彦



〈3席〉本荘市立尾崎小学校
5年 新田 栄治



〈2席〉仁賀保町立釜ヶ台中学校
2年 佐藤 千草



〈2席〉天王町立天王南中学校
1年 納谷 宣樹



〈1席〉仙北町立仙北中学校
2年 杉山 真知子



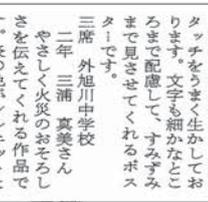
〈3席〉秋田市立外旭川中学校
2年 三浦 真美



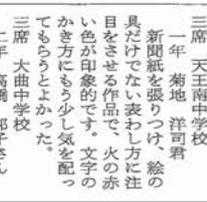
〈3席〉大曲市立大曲中学校
2年 高橋 邦子



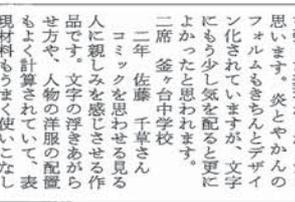
〈3席〉天王町立天王南中学校
1年 菊地 洋司



〈3席〉秋田市立外旭川中学校
2年 三浦 真美



〈3席〉大曲市立大曲中学校
2年 高橋 邦子



〈3席〉天王町立天王南中学校
1年 菊地 洋司

意識の高揚につとめてくれ、担任に敬意を表する反面、応募作品として格差の閉きを強く感じさせられました。

全年を通じて今年は、色彩のきれいな作品が多く集まった感じを受けました。

◎入賞作品評

〈小学校の部〉

一席 鶴形小学校
二年 高橋 啓一君
日常生活の中から気をつけなければならない事をとりあげ、明かるい色調で、ポイントが強く表現されています。文字の大きさを画面にマッチしている作品です。

二席 内小友小学校
四年 佐藤 康弘君
防火ポスターではあまりとりあげられていない地震の時に焦点を合わせた点は、

二席 大湯小学校
二年 湯瀬 邦彦君
ビル火災のおそろしさを絵画的に描いています。灰色と赤を主とした表現は全体の色調を落着かせ、ことにかたかなの「キケン」は効果的です。

三席 尾崎小学校
五年 新田 栄治君
五年らしく、整理された作品です。帯状に色彩を並べた事によって、画面を広く見せているなかで、中央の黒の文字がよく利いて

〈中学校の部〉

一席 仙北中学校
二年 杉山 真知子君
女の子らしく情緒的に訴える作品として表現技術的にもすぐれています。暗い全体の画面に白く浮びあがらせた図柄は、ポイントの印象づけの効果がよく出ています。文字も丁寧によく出ています。

二席 天王南中学校
一年 納谷 宣樹君
絵の具だけでなく、紙片を使った表現がよかったです。炎とやかんのフキもきちんとデザイン化されていますが、文字にも少し気を配ると更によかったです。

二席 釜ヶ台中学校
二年 佐藤 千草君
人に親しみを感ぜさせる作品です。文字の浮きあがらせ方や、人物の洋服の配置もよく計算されていて、表現材料もよく使いこなしています。

三席 天王南中学校
一年 菊地 洋司君
新聞紙を張りつけ、絵の具だけをいれ、表紙の注目をさす作品で、火の赤い色が印象的です。文字のかき方にも少し気を配って、よりよかったです。

三席 大曲中学校
二年 高橋 邦子君
整理された作品で、筆のタッチをうまく生かしてあります。文字も細かなところまで配慮して、すみずみまで見せてくれるポスターです。

三席 外旭川中学校
二年 三浦 真美君
やさしく火災のおそろしさを伝えてくれる作品です。炎の色がシルエットと

なっている建物も、より強く印象づけています。

以上、三席までの十二人のほか、次の十八人が佳作に選ばれました。

〈小学校の部〉

能代市立鶴形小学校
一年 高橋 友樹君
一年 小林 恭輔君
大曲市立藤木小学校
三年 木村 直美さん
大曲市立内小友小学校
三年 大坂 愛さん
四年 関口 智也君

角野町立角野西小学校
六年 能美絵里子さん
〈中学校の部〉

天王町立天王南中学校
一年 藤原 絵里さん
一年 麻生 明道君
大曲市立大曲中学校
二年 斎藤 保美さん
秋田市立外旭川中学校
二年 新山 奈緒子さん
大曲市立西曲中学校
二年 小松 美穂さん

平成四年度 消防団員指導員研修開催

県消防学校において

県消防協会では、各消防団から推薦された指導員を対象に、平成四年度消防団員指導員研修を秋田県消防学校において、同校の協力のもとに実施した。

この研修は、地域防災の中枢としての役割を果たす消防団員の任務の重要性に鑑み、消防団員の防災技術の向上を図るため、消防団員の教育訓練の指導に資する方々を研修することと目的として行われたもので、十二名の方々が終始熱心に研修を受けた。

修了式には、日本消防協会長の修了証及び指導員章が授与された。

今回の受講者は次の方々

日本消防協会消防団 幹部特別研修

大雄村消防団長
柴田多三郎氏が受講

幹部の中から、各都道府県消防協会が推薦した分団長以上の幹部団員が参加して行われたもので、本県からは、大雄村消防団の団長柴田多三郎氏が受講した。

- 角野町立角野西消防団
副分団長 原田 孝三
能代市消防団
班長 斎藤 正和
班長 山田 藤雄
五城目消防団
分団長 石川 賢悦
大曲市消防団
班長 藤原 利一
班長 山田 忠一
班長 渡辺 亨
仙北町消防団
班長 新田 昇利
田沢町消防団
分団長 藤川 健一
副分団長 真崎 貞壽
角野町消防団
班長 高橋 昭昭
班長 佐々木良治

